消　防　年　報

平成２４年度版

小　豆　地　区　消　防　本　部

（平成２５年刊行）

はしがき

１．　この年報は、平成２４年中における小豆地区消防本部の業務に関する諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将来の消防防災活動の資料とするため作成しました。

２．　この統計中、予算関係事項については会計年度とし、その他の事項については暦年としました。

平成２５年９月

小豆地区消防本部

目　　次

総　　務

１．位置及び自然的条件……１
２．管内図と消防本部・署の位置……２
３．小豆郡内常備消防の沿革……３
４．消防の沿革（組合）……４～１４
５．主たる総務行事……１５
６．歴代消防長……１６
７．歴代消防署長……１６～１７
８．消防の組織・機構……１８
９．事務分掌……１９～２０
１０．管内面積及び人口・世帯数……２０
１１．消防庁舎の現状……２１
１２．職員の勤務年数……２１
１３．職員の年齢……２２
１４．職員の配置状況……２２
１５．消防力の現勢……２３
１６．消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合……２３
１７．消防予算……２４
１８．平成２３年度町別一般会計予算と消防予算……２４
１９．消防費基準財政需要額及び町負担金……２４
２０．職員特殊技能資格取得状況　……２５
２１．職員諸手当調……２６
２２．職員教養状況調……２６
２３．職員居住地調……２７
２４．職員任用退職状況調……２７
２５．職員の推移……２８

予　　防

１．主たる予防行事……２９
２．防火優良認定交付対象物状況……２９
３．自主防災組織の現況……２９～３０
４．防火対象物現況……３１
５．防火管理者選任届状況……３２
６．建築同意事務処理状況……３３～３４
７．危険物施設の現況……３５
８．危険物施設の許認可状況……３５
９．各種届出事務処理状況……３６
１０．広報・広聴実施状況……３６
１１．中高層建築物（４階以上）の現況……３７

消 防 防 災

１．主たる警防行事……３９
２．消防車両等配置状況……４０
３．主な機械器具の配置状況……４１～４２
４．消火薬剤の備蓄状況……４２
５．消防水利の現況……４３
６．防災関係届出事務処理状況……４３
７．災害別出動状況……４３
８．救急法指導状況……４４～４５

情 報 指 令

１．消防通信系統図……４７
２．通信施設状況……４８～４９
３．１１９番受信状況……５０
４．気象状況（観測地　消防本部）……５０
５．気象情報受理状況……５１

火 災 統 計

１．火災発生状況……５３
２．時間別火災状況……５４
３．月・曜日別火災状況……５４
４．覚知別火災状況……５５
５．原因別火災状況……５５
６．建物火災用途別火災状況……５５
７．過去１０ヶ年の火災状況……５６

救 急 統 計

１．事故別救急出動状況……５７
２．覚知別救急出動状況……５７
３．医療機関等収容可能状況照会回数……５７
４．時間別救急出動状況……５８
５．曜日別救急出動件数……５８
６．救急隊員の行った応急処置件数……５８
７．現場到着所要時間別出動状況……５９
８．収容所要時間別搬送人員……５９
９．年齢区分別搬送人員……５９

１０．発生場所別搬送人員‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６０
１１．管轄外転院搬送件数‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６０
１２．傷病程度別搬送人員‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６０
１３．小豆２町、年別救急出動状況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６１
１４．過去１０ヶ年の主な救急出動状況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６１

消　防　団

１．２町消防団現勢分布図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６３
２．消防団の組織・機構‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６４
３．消防団員の勤務年数及び年齢‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６５
４．消防団員数及び装備状況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６５～６６
５．町別消防車両等種別現況‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６６～６７
６．消防団員報酬調‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６７
７．消防団員諸手当調‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥６７

総　　務

総　　務

１．位置及び自然的条件

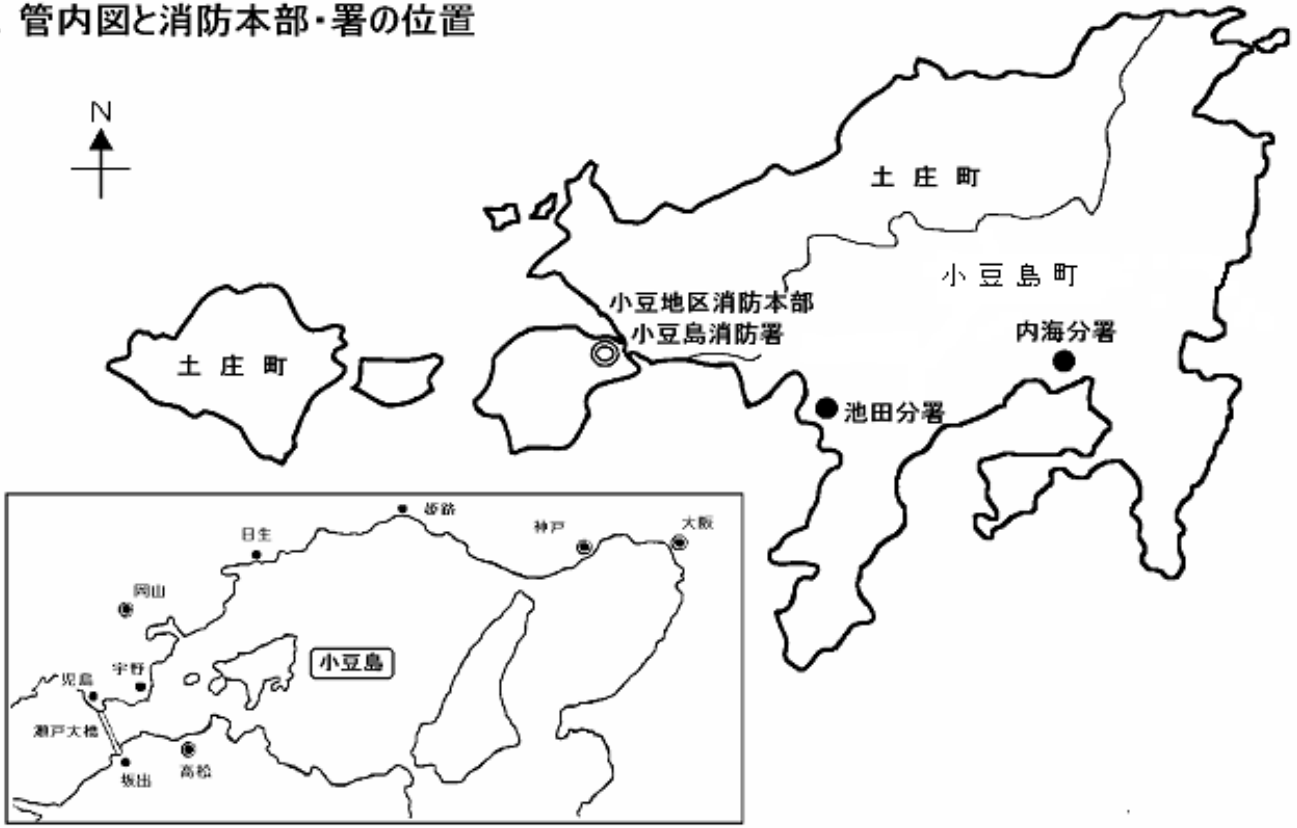
小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の２町で構成されている。

地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰８１７ｍの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、小豆島は、瀬戸内海国立公園「寒霞渓」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

気候は、四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造及び電照菊の栽培が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。

2. 管内図と消防本部・署の位置



３．小豆郡内常備消防の沿革

内　海　町

昭和 37 年４月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員３名採用する。
６月	常勤消防団員１名内海町へ。
10 月	常勤消防団員２名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員２名、非常勤消防団員３名にて当直を実施し初動態勢の 強化を図った。（昭和３８年３月まで実施）
昭和 38 年４月	常勤消防団員３名採用、常勤消防団員７名となる。
７月	消防庁舎を安田甲１４４の９０（町役場敷地内）に新築する。
10 月	常勤消防団員１名増員（内海町より）常勤消防団員８名となる。
昭和 41 年８月	常勤消防団員１名退職し、１名採用する。
昭和 45 年３月	常勤消防団員１名退職、常勤消防団員７名となる。
４月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員３名採用、 職員１０名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、 その任にあたる。

土　庄　町

昭和 38 年４月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に 土庄町消防本部を新設、職員４名にてその任にあたる。夜間当直１名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊（役場職員１２名）を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年４月	消防本部を土庄町甲６１２（土庄分団屯所内）へ移転する。 職員３名を採用し、専任職員７名となる。
昭和 41 年４月	職員１名土庄町へ、職員１名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年６月	職員３名を採用し、専任職員１０名となる。
11 月	専任職員２名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 （本年より毎年火災多発期の１１月～３月実施）　夜間当直２名。
昭和 43 年４月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
６月	職員３名増員（土庄町より）専任職員１３名となる。 消防本部・署を土庄町甲５６１（旧土庄中学校）へ移転する。
昭和 44 年４月	職員４名採用し専任職員１７名となる。
10 月	消防署の編成を１車隊６名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年２月	消防本部・署を土庄町渕崎甲２０４４（旧土地改良事務所）へ移転する。
４月	女子職員１名増員（土庄町より）職員１８名となる。
昭和 46 年７月	職員１名増員（土庄町より）職員１９名となる。
昭和 47 年３月	職員２名土庄町へ、職員１７名となる。

消防組合設立への機運

昭和４５年１月１２日池田町内の２ヵ所から同時に出火した林野火災は延々３日間にわたり燃え続け、１月１４日　延べ５２４ｈａを焼失し鎮火となった。全国史上９番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

４．消防の沿革（組合）

昭和 46 年７月	小豆３町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー　（３町町長、３町議長、３町総務課長、３町消防団長、土庄町消防本部消防長）
９月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10 月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11 月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12 月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和 47 年３月	小豆３町広域消防促進協議会を解散する。
４月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 初代管理者に内海町長川北四十二氏が就任。 初代消防長及び消防署長に清水勝氏が任命される。 消防職員１６名採用、内海町より１名、池田町より１名、職員総数４５名となる。
５月	消防職員１名、事務職員（女）１名採用、職員総数４７名となる。
６月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員１名内海町へ、職員総数４６名となる。
７月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員１名配置し、１１名となる。
９月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10 月	救急車（トヨタハイエース２Ｂ型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員６名を増員、消防署員数２１名となる。
12 月	消防ポンプ車（ニッサンＦＨ６０型）２台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和 48 年１月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲５５７－４）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田２０９９－４）業務を開始する。 分署署員数　２名　　消防ポンプ車　１台
３月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局４基、携帯局４基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタＦＪ５５Ｖ）の寄贈を受

	け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。(旧ポンプ車は池田分署へ配置する。）消防職員１名退職、職員総数４５名となる。
４ 月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員１７名を採用、職員総数６２名となる。池田分署へ３名増員し、分署署員５名となり、夜間は通信員１名常駐する。
	内海分署庁舎落成し（内海町安田甲１４４－９０）移転する。
５月	消防職員１名土庄町へ、職員総数６１名となる。
７月	消防職員１名退職し、職員総数６０名となる。
８月	内海分署へ２名増員し、分署署員数１３名となる。
	消防職員１名退職し、職員総数５９名となる。
９月	無線移動局３基、携帯局５基を増設し、消防署と各分署へ配置する。
11 月	消防署へ消防救急指令装置（NEC、FD201 型）を設置し、運用を開始する。
昭和 49 年１月	池田分署へ６名増員し、分署署員数１１名となり隔日勤務体制をとる。
３ 月	消防職員２名土庄町へ、１名内海町へ転出し、職員総数５６名となる。
４ 月	第二代消防署長に役重正則氏が昇任される。消防職員６名採用、職員総数６２名となる。
	内海分署へ救急車（トヨタハイエース２Ｂ型）を配置するとともに６名を増員しポンプ車隊、救急車隊の２隊編成をとり分署署員数１９名となる。池田分署へ２名増員し、分署署員数１３名となる。
５ 月	内海分署において、救急業務を開始する。
７ 月	消防本部へ査察広報車（トヨタカローラバン）を配置する。旧車は池田分署へ配置する。
	７月６日、台風８号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橘地区を中心に死者２９名、重軽傷者４２名、家屋全半壊１２８戸を出す大惨事となる。
	大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。
８ 月	内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車（ニッサンＦＨ６０型）を購入配置する。
昭和 50 年３月	初代消防長清水勝氏及び職員１名退職し、職員総数６０名となる。
	無線移動局１基、携帯局５基を増設する。
４月	消防職員２名採用、職員総数６２名となる。
６月	第二代消防長に内海町役場課長であった坂本傳氏が任命され、職員総数６３名となる。
７月	池田分署へ消防ポンプ車（ニッサンＦＨ６０型）を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
９月	無線移動局２基、携帯局１基を増設する。小豆島防火協会が設立される。
11 月	消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の３課制をとる。
昭和 51 年３月	消防職員２名退職し、職員総数６１名となる。
４月	消防職員３名採用、職員総数６４名となる。

９月	防災工作車（トヨタハイエースWキャブ）を２台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。 台風１７号により、９月８日から９月１３日までに小豆島全域にわたり、わずか６日間で年間降雨量を超える１，４００ミリ（１１日～１２日で８００ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして３９名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。 史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎょ、資材の運搬等にあたる。しかし、９月１２日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の捜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々１２日間連続出動する。 延出動職員数　７３９名　　延出動車両台数　７５台 被害の概要 死　者　39名　重軽傷者　81名　被災世帯　2,665世帯 全壊家屋　209戸　半壊家屋　268戸　床上浸水　2,149戸 床下浸水　2,942戸
11月	消防職員１名退職、職員総数６３名となる。無線移動局１基、携帯局３基を増設する。
昭和 52 年１月	臨時事務職員１名採用。
３月	無線携帯局３基を増設する。
４月	消防職員１名池田町へ、職員総数６２名となる。
６月	第二代消防長坂本傳氏内海町へ。消防長事務取扱に内海町長川北四十二氏が任命され、職員総数６１名となる。
昭和 53 年３月	初代管理者、内海町長川北四十二氏退任。
４月	第二代管理者に土庄町長山脇利一氏が就任、次長として土庄町役場主幹であった洲本勝氏が任命される。消防職員４名採用、職員総数６６名となる。
５月	土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
７月	異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、５４年２月中旬から全面給水となった。
８月	異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。（１０月中旬まで実施する。）内海分署へ２名増員し、分署署員数２１名となる。
９月	日本消防協会より、救急車（トヨタハイエース２Ｂ型）の寄贈を受け、本署へ配置する。
昭和 54 年３月	内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。
７月	小型動力ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、内海分署へ配置する。
10月	油火災用ユニット式ポンププロポーショナー１式を２基購入し、本署と内海分署へ配置する。
11月	小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。

12 月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和 55 年３月	消防職員１名、臨時事務職員１名退職し、職員総数６５名となる。
４月	第四代消防長に消防次長であった洲本勝氏が昇任。消防職員３名採用、職員総数６８名となる。
６月	小型動力ポンプ（ラビット可搬式）２台を購入し、本署と池田分署へ配置。
８月	消防他３つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。組合管理者には、内海町長川北四十二氏が就任。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員１名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数６７名となる。
10 月	油火災用ユニット式ポンププロポーショナー１式を購入し池田分署へ配置。
11 月	油火災用特殊防火衣を２着購入し、本署へ配置する。
	日本自動車工業会より救急車（トヨタハイエース２Ｂ型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急２号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和 56 年４月	第二代消防署長、役重正則氏退職。消防職員１名採用、職員総数６７名となる。
５月	第三代消防署長に副署長であった谷元哲彦氏昇任。
９月	救助用器材（エアツールセット）１式を購入し、本署へ配置する。
昭和 57 年３月	消防ポンプ車（いすゞＣＤ―I）１台を購入し、本署へ配置する。
	旧消防ポンプ１号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。
	日本損害保険協会より、救急車（日産キャラバンＢ―２）の寄贈を受け本署へ配置する。救急３号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
４月	消防職員２名採用、職員総数６９名となる。
５月	救助用器材（エアツールセット）１式を購入し、内海分署へ配置する。
６月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース２Ｂ型）の寄贈を受け、本署へ配置する。
10 月	消防職員１名小豆島老人ホームへ、職員総数６８名となる。
昭和 58 年３月	第二代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。
４月	第三代管理者に池田町長佐々木武雄氏就任。
８月	日本消防協会より、救助資器材搬送車（日産アトラス）の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和 59 年３月	第四代消防長、洲本勝氏土庄町へ。
	消防署に設置の救急指令装置（D-201E）更新する。
	消防職員一名退職、職員総数６６名となる。
４月	第三代管理者、池田町長佐々木武雄氏退任。第四代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。第五代消防長に、消防次長であった谷元哲彦氏が昇任、消防職員１名採用、職員総数６７名となる。
８月	救助用器材（エアツールセット）１式を購入し、池田分署へ配置する。
11 月	第８回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車（日産キャラバン）の寄贈を受ける。

昭和 60 年３月　第四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。

４月　第五代管理者に内海町長川西寿一氏就任。

７月　小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。

９月　日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリＡ－Ⅰ）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。

昭和 61 年３月　内海分署無線基地局老朽のため更新する。

第五代消防長兼消防署長であった谷元哲彦氏退職。職員総数６６名となる。

４月　第六代消防長事務取扱に池田町長八木壮一郎氏が任命され、次長として池田町役場主幹であった大谷隆生氏が任命される。第四代消防署長に副署長であった中黒輝雄氏が昇任。消防職員１名採用、職員総数６８名となる。

８月　８月２８日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、９月４日１７時１２８ｈａを焼失し、鎮火する。

被害状況　焼損面積　１２８ha　損害額　７，５５０万円
死　者　１名　負傷者　７名

出動人員（延）		出動車両等（延）	
小豆地区消防本部	275 名	消防ポンプ自動車	77 台
土庄町消防団	1,772 名	小型動力ポンプ付積載車	72 台
池田町消防団（応援）	228 名	その他の車両	61 台
内海町消防団（応援）	294 名	偵察用ヘリコプター	3 機
高松市消防局（応援）	213 名	空中消火用ヘリコプター	8 機
神戸市消防局（応援）	5 名		
陸上自衛隊　（応援）	112 名		
合　計	2,899 名		

10 月　異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（６２年２月まで）

12 月　香川県消防相互応援協定締結
（香川県下５市、３８町、６消防組合）

昭和 62 年２月　消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ⅰ）を購入し、池田分署へ配置する。

３月　第五代管理者、内海町長川西寿一氏退任。

４月　第六代管理者に土庄町長山脇利一氏就任。

５月　消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。

６月　査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。

昭和 63 年３月　第六代消防長事務取扱者、池田町長八木壮一郎氏退任。

４月　第七代消防長に消防次長であった大谷隆生氏が昇任。消防職員１名採用、職員総数６９名となる。

８月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。
11月	消防本部へ管轄区域内の１１９番を統合し、運用を開始する。
12月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ｉ）を購入し、本署へ配置する。
平成元年３月	第六代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。消防職員の高齢化対策として２名退職し、関係町で採用され、職員総数６７名となる。
４月	第七代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。消防職員３名採用、職員総数７０名となる。
５月	消防職員１名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数６９名となる。
９月	防災工作車を２台購入、内海分署（トヨタトヨエースWキャブ)、池田分署（トヨタダイナWキャブ）へそれぞれ配置する。
10月	消防職員１名退職、職員総数６８名となる。
平成２年２月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース２Ｂ型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。
３月	消防本部の庁舎に非常電源装置を設置する。 消防職員の高齢化対策として１名退職し、関係町で採用され、職員総数６７名となる。
４月	消防職員２名採用、１名退職し、職員総数６８名となる。
６月	救助用機材（リフトバック）１式を購入し、本署へ配置する。
12月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。
平成３年２月	本署の林野工作車（４９年式日産ＦＨ６０型）を廃車にする。
３月	第七代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。消防職員の高齢化対策として１名退職し、関係町で採用され、職員総数６７名となる。
４月	第八代管理者に内海町長川西寿一氏就任。消防職員３名採用、１名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数６９名となる。
８月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ｉ）を購入し、内海分署へ配置する。
平成４年３月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン２Ｂ型）の寄贈を受け、本署へ配置し、１号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として１名退職し、関係町で採用され、職員総数６８名となる。
４月	消防職員２名採用、職員総数７０名となる。
平成５年３月	第八代管理者、内海町長川西寿一氏退任。第七代消防長、大谷隆生氏池田町へ。 消防職員の高齢化対策として１名退職し、関係町で採用され、職員総数６８名となる。
４月	第九代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。第八代消防長に消防署長であった中黒輝雄氏が昇任。第五代消防署長に総務課長であった前田忠氏が昇任。 消防職員２名採用、１名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数６９名となる。
10月	日本消防協会より救急車（いすゞファーゴ２Ｂ型）の寄贈を受け、内海分署へ

配置する。

12月　小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。

平成６年１月　香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県）
香川県防災航空隊へ職員１名派遣。

４月　消防職員２名採用、職員総数７１名となる。
香川県防災ヘリコプター応援協定締結
（香川県、県下５市、３８町、６消防組合）

５月　エアーコンプレッサーを購入し、本署へ配置する。

11月　はしご付消防自動車（森田式ＭＬＥＨ５－３５Ｒ型）を購入し本署へ配置する。

平成７年３月　第九代管理者、土庄町長塩本淳平氏退任。

４月　第十代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。

６月　第八代消防長、中黒輝雄氏逝去。職員総数７０名となる。

７月　第九代消防長兼署長に次長兼署長であった前田忠氏が昇任。

平成８年３月　基地局に県内共通波を設置する。

４月　第九代消防長兼署長であった前田忠氏の署長兼務を解く。第六代消防署長に内海分署長であった木村敏夫氏が昇任。消防職員２名採用、１名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、２名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数７１名となる。

４月９日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常渇水のため、１６時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町渕崎妹尾乙２５７番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め４月１２日９時、４７ｈａを焼失し、鎮火する。

出動人員（延）		出動車両等（延）	
小豆地区消防本部	196名	消防ポンプ自動車	49台
土庄町消防団	1,172名	小型動力ポンプ付積載車	109台
池田町消防団	300名	自衛隊車両	33台
内海町消防団	350名	その他の車両	73台
高松市消防局	9名	消防防災ヘリ	7機
香川県防災航空隊	21名	自衛隊ヘリ	9機
大阪市消防局航空隊	5名		
広島市消防航空隊	6名		
島根県防災航空隊	16名		
京都市消防航空隊	6名		
陸上自衛隊	161名		
合計	2,242名		

平成９年３月　第十代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。
日本消防協会から救急車（日産キャラバン２Ｂ型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。

４月	第十一代管理者に内海町長川西寿一氏就任。
	香川県防災航空隊へ職員１名交替派遣。
５月	第十一代管理者、内海町長川西寿一氏退任。
	第十二代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。
10 月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。
平成 10 年 10 月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。
平成 11 年２月	携帯電話等からの１１９番通報転送等に関する協定締結。
	（高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部）
	携帯電話１１９番転送システムを設置する。
	２月１４日、土庄町渕崎字東丸山甲１６６５番地３より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し３日間燃え続け、消防職員・３町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、１３ｈａを焼失し、１６日８時４０分鎮火する。

出動人員（延）		出動車両（延）	
小豆地区消防本部	145 名	消防ポンプ自動車	35 台
土庄町消防団	717 名	小型動力ポンプ付積載車	87 台
池田町消防団	110 名	自衛隊車両	6 台
内海町消防団	100 名	その他の車両	25 台
香川県防災航空隊	9 名	消防防災ヘリ	8 機
高知県消防防災航空隊	16 名	自衛隊ヘリ	8 機
愛媛県消防防災航空隊	13 名		
兵庫県消防防災航空隊	14 名		
広島県防災航空隊	6 名		
鳥取県消防防災航空隊	7 名		
陸上自衛隊	121 名		
土庄警察署	55 名		
土庄町職員	24 名		
合計	1,337 名		

３月	第十二代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。
４月	第十三代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。
	香川県防災航空隊へ職員１名交替派遣。
平成 12 年３月	消防本部２階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。
10 月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。
平成 13 年３月	第十三代管理者、塩本淳平氏退任。
	消防職員１名退職。職員総数７０名となる。
平成 13 年４月	第十四代管理者に八木壮一郎氏就任。
	消防職員１名採用。職員総数７１名となる。
平成 14 年１月	消防職員１名退職。職員総数７０名となる。

３月	第六代消防署長、木村敏夫氏退職。職員総数６９名となる。
４月	第七代消防署長に内海分署長であった森三郎氏が昇任。
	消防職員２名採用、職員総数７１名となる。
	香川県防災航空隊へ職員１名交替派遣。
平成 15 年３月	第十四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。
	第九代消防長、前田忠氏退職。職員総数７０名となる。
	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。
４月	第十五代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。
	第十代消防長事務取扱に土庄町長三木佑二郎氏任命。
	消防職員３名採用、職員総数７３名となる。
10 月	消防次長、高橋忠博氏逝去。職員総数７２名となる。
12 月	消防署長であった森三郎氏が消防次長に昇任。
	第八代消防署長に内海分署長であった佐渡達夫氏が昇任。
平成 16 年３月	消防次長、森三郎氏退職。職員総数７１名となる。
	救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。
４月	消防署長であった佐渡達夫氏が消防次長に昇任。
	第九代消防署長に浜岡成俊氏が昇任。
８月	台風１６号による高潮被害。
	内海町　床上浸水　176 戸　　床下浸水　350 戸
	土庄町　床上浸水　523 戸　　床下浸水　523 戸
	池田町　床上浸水　49 戸　　床下浸水　160 戸
	合　計　床上浸水　748 戸　　床下浸水 1,033 戸
平成 17 年３月	第十五代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。
	第十代消防長事務取扱、土庄町長三木佑二郎氏退任。
	消防職員１名退職、職員総数７０名となる。
	消防ポンプ自動車（日野ＣＤ－Ⅰ）を購入し、内海分署へ配置する。
４月	第十六代管理者に土庄町長三木佑二郎氏就任。
	第十一代消防長に消防次長であった佐渡達夫氏が昇任。
	第十代消防署長に総務課長であった中川博行氏が昇任。
	消防職員１名採用、職員総数７１名となる。
	香川県防災航空隊へ職員１名交替派遣。
平成 18 年１月	第十六代管理者、土庄町長三木佑二郎氏退任。第十七代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。
３月	内海町、池田町（２町）が合併し、小豆島町となる。
	消防職員５名退職（勧奨）職員総数６６名となる。
	消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ⅰ）を購入し、池田分署へ配置する。
４月	消防職員５名採用、職員総数７１名となる。
８月	消防職員１名退職、職員総数７０名となる。

平成 19 年３月	第十七代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。
	消防職員１名退職（勧奨）職員総数６９名となる。
４月	第十八代管理者に小豆島町長坂下一朗氏就任。
	消防職員２名採用、職員総数７１名となる。
平成 20 年１月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
３月	消防長、佐渡達夫氏・消防署長、中川博行氏他消防職員３名退職（内３名勧奨）
	職員総数６６名となる。
４月	第十二代消防長に消防次長であった浜岡成俊氏が昇任。
	消防次長に総務課長であった岡田正志氏が昇任。
	第十一代消防署長に内海分署長であった森川誠三氏が昇任。
	消防職員３名採用、職員総数６９名となる。
平成 21 年３月	第十八代管理者、小豆島町長坂下一朗氏退任。
	消防長、浜岡成俊氏・消防次長、岡田正志氏・消防署長、森川誠三氏　他消防
	職員４名退職（内４名勧奨）
	職員総数６２名となる。
４月	第十九代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。
	第十三代消防長事務取扱に小豆島町長坂下一朗氏任命。
	消防次長に通信指令室長であった今口眞悟氏昇任。
	第十二代消防署長に総務課長であった真砂清氏が昇任。
	消防職員７名採用、職員総数６９名となる。
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け
	内海分署へ配置する。
平成 22 年３月	消防職員２名退職（勧奨）職員総数６７名となる。
４月	消防職員２名採用、職員総数６９名となる。
	第十三代消防長事務取扱　小豆島町長坂下一朗氏退任。
	第十四代消防長事務取扱に土庄町長岡田好平氏任命。
平成 23 年３月	第十九代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。
	第十四代消防長事務取扱　土庄町長岡田好平氏退任。
	消防次長、今口眞悟氏　他消防職員２名退職（内２名勧奨）
	職員総数６６名となる。
４月	第二十代管理者に小豆島町長塩田幸雄氏就任
	第十五代消防長に消防署長であった真砂清氏が昇任。
	消防次長に総務課長であった前田彰夫氏昇任。
	第十三代消防署長に消防副署長であった浜脇繁美氏が昇任。
	消防職員３名採用、職員総数６９名となる。
	香川県防災航空隊へ職員１名交替派遣。
平成 24 年２月	消防ポンプ自動車（日野ＣＤ－Ⅰ）を購入し、本署へ配置する。
３月	消防署長、浜脇繁美氏　他消防職員２名退職。職員総数６６名となる。
４月	第十四代消防署長に総務課長であった石塚昭義氏が昇任。

	消防職員３名採用、職員総数６９名となる。
12 月	指揮車(ﾄﾖﾀｳﾞｫｸｼｰ)を購入し本部へ配置する。
平成 25 年３月	第二十代管理者、小豆島町長塩田幸雄氏退任。
	第十五代消防長、真砂清氏・消防次長、前田彰夫氏　他消防職員４名退職。(内３名勧奨)
	職員総数６３名となる。
４月	第二十一代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。
	第十六代消防長に消防署長であった石塚昭義氏が昇任。
	消防次長に情報指令課主幹であった上濱一弥氏昇任。
	第十五代消防署長に総務課長であった須佐美高広氏が昇任。
	消防職員６名採用、職員総数６９名となる。

５．主たる総務行事（平成２４年）

１月２４日	小豆地区広域行政事務組合議会視察研修	（観音寺市）
２月１４日	消防団長等幹部研修会	（高松市）
３月　２日	香川県消防救急デジタル無線整備検討委員会	（高松市）
２日	小豆地区広域行政事務組合定例議会	
６日		
～７日	香川県消防協会消防団長等研修	（三木市）
２３日	消防庁長官定例表彰伝達式	（高松市）
４月　５日	消防職員第５９期初任教育入校式	（高松市）
１３日	第１回県下消防長会議	（善通寺市）
１５日	小豆郡消防連合会総会・表彰式	
２６日	全国消防長会四国支部総会	（高知市）
２７日	香川県消防協会代議員会	（高松市）
５月１７日		
～１８日	第１５回全国消防長会警防防災委員会	（浜田市）
２０日	平成２４年度土器川水防演習	（丸亀市）
２９日	香川県消防協会消防功労者定例表彰式	（高松市）
６月２０日		
～２２日	全国消防長会総会	（札幌市）
７月　６日	地方公務員災害補償制度事務担当者会	（高松市）
１０日	消防学校教育推進協議会	（高松市）
８月　３日	平成２４年臨時香川県消防長会議	（高松市）
８月２３日	第２回香川県消防協会代議員会	（高松市）
９月２２日	初任教育生訓練発表会	（高松市）
２８日	消防職員第５９期初任教育卒業式	（高松市）
１０月２３日	消防学校教育推進協議会	（高松市）
２４日		
～２６日	第１６回全国消防長会警防防災委員会	（北上市）
２６日	県下署長会議	（東かがわ市）
１１月　２日	県下庶務事務担当者会	（多度津町）
５日	香川県消防職員専科警防科講師派遣	（高松市）
９日	香川県消防長会議及び消防職員意見発表会	（丸亀市）
１３日	警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭	（高松市）
３０日	全国消防長会四国支部消防長研修会	（高知市）
１２月　８日	第１５回普通科連隊創立５８周年記念行事	（善通寺市）

６． 歴代消防長

平成 25 年 4 月 1 日現在

年　代	氏　名	在　職　期　間	勤務年数	
初　代	清　水　勝	自　昭４７．　４．　１ 至　昭５０．　４．　１	３年	０月
二　代	坂　本　傳	自　昭５０．　６．　１ 至　昭５２．　５．３１	２年	０月
三　代	（消防長事務取扱） 川　北　四十二	自　昭５２．　６．　１ 至　昭５３．　３．３１		１０月
四　代	洲　本　勝	自　昭５５．　４．　１ 至　昭５９．　３．３１	４年	０月
五　代	谷　元　哲　彦	自　昭５９．　４．　１ 至　昭６１．　３．３１	２年	０月
六　代	（消防長事務取扱） 八　木　壮一郎	自　昭６１．　４．　１ 至　昭６３．　３．３１	２年	０月
七　代	大　谷　隆　生	自　昭６３．　４．　１ 至　平　５．　３．３１	５年	０月
八　代	中　黒　輝　雄	自　平　５．　４．　１ 至　平　７．　６．　６	２年	２月
九　代	前　田　忠	自　平　７．　７．　１ 至　平１５．　３．３１	７年	９月
十　代	（消防長事務取扱） 三　木　佑二郎	自　平１５．　４．　１ 至　平１７．　３．３１	２年	０月
十一代	佐　渡　達　夫	自　平１７．　４．　１ 至　平２０．　３．３１	３年	０月
十二代	浜　岡　成　俊	自　平２０．　４．　１ 至　平２１．　３．３１	１年	０月
十三代	（消防長事務取扱） 坂　下　一　朗	自　平２１．　４．　１ 至　平２２．　４．２２	１年	１月
十四代	（消防長事務取扱） 岡　田　好　平	自　平２２．　４．２３ 至　平２３．　３．３１	１年	０月
十五代	真　砂　清	自　平２３．　４．　１ 至　平２５．　３．３１	２年	０月
十六代	石　塚　昭　義	自　平２５．　４．　１ 至　現　在		

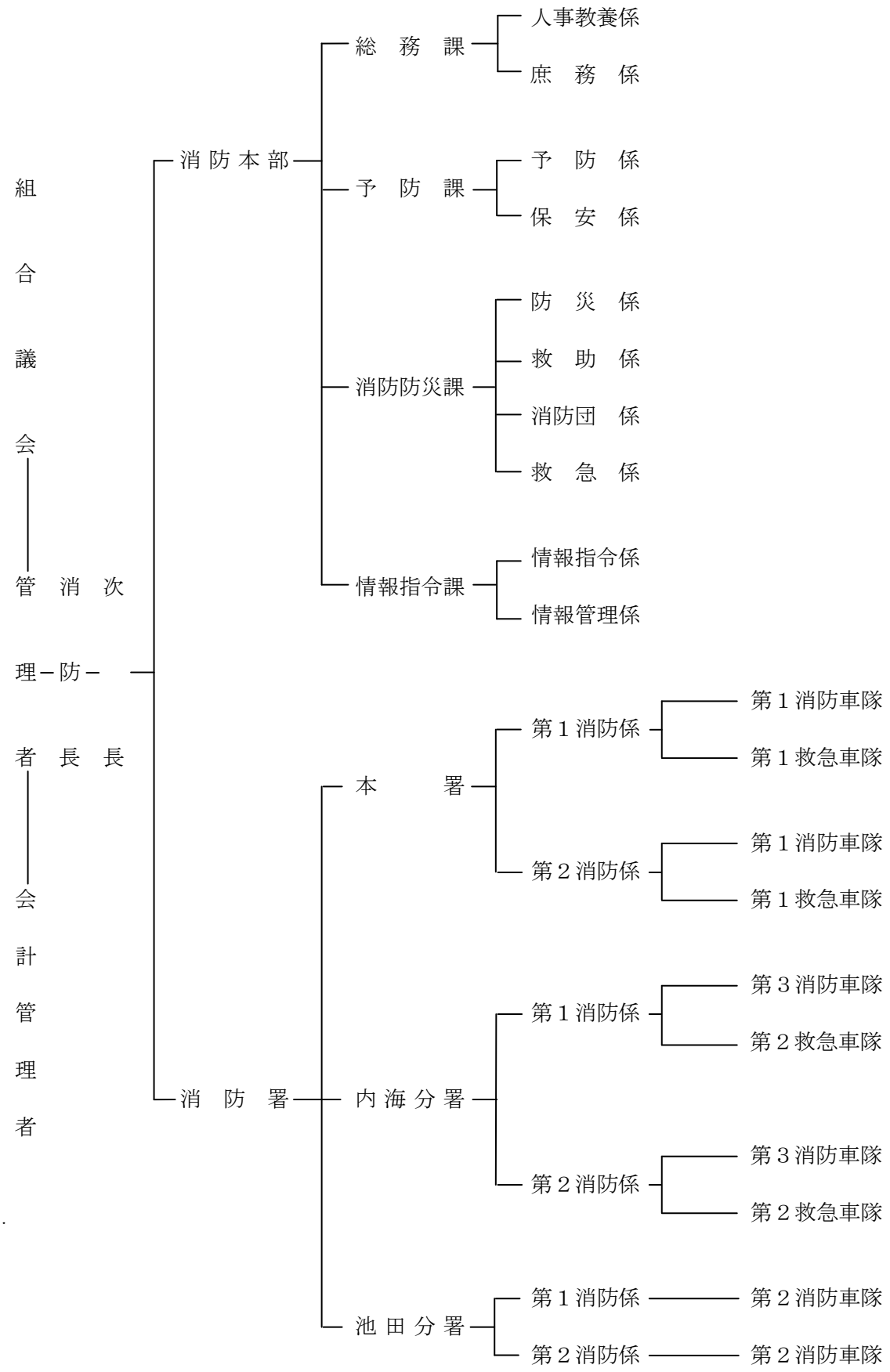
７.歴代消防署長

平成 25 年 4 月 1 日現在

年　代	氏　名	在　職　期　間	勤務年数	
初　代	清　水　勝	自　昭４７．　４．　１ 至　昭４９．　３．３１	２年	０月
二　代	役　重　正　則	自　昭４９．　４．　１ 至　昭５６．　４．１４	７年	１月
三　代	谷　元　哲　彦	自　昭５６．　５．　１ 至　昭６１．　３．３１	４年	１１月
四　代	中　黒　輝　雄	自　昭６１．　４．　１ 至　平　５．　３．３１	７年	０月
五　代	前　田　忠	自　平　５．　４．　１ 至　平　８．　３．３１	３年	０月
六　代	木　村　敏　夫	自　平　８．　４．　１ 至　平１４．　３．　１	６年	０月

七　代	森　　三　郎	自　平１４．　４．　１ 至　平１５．　１１．　３０	１年	８月
八　代	佐　渡　達　夫	自　平１５．　１２．　１ 至　平１６．　３．　３１		４月
九　代	浜　岡　成　俊	自　平１６．　４．　１ 至　平１７．　３．　３１	１年	０月
十　代	中　川　博　行	自　平１７．　４．　１ 至　平２０．　３．　３１	３年	０月
十一代	森　川　誠　三	自　平２０．　４．　１ 至　平２１．　３．　３１	１年	０月
十二代	真　砂　　清	自　平２１．　４．　１ 至　平２３．　３．　３１	２年	０月
十三代	浜　脇　繁　美	自　平２３．　４．　１ 至　平２４．　３．　３１	１年	０月
十四代	石　塚　昭　義	自　平２４．　４．　１ 至　平２５．　３．　３１	１年	０月
十五代	須佐美　高　広	自　平２５．　４．　１ 至　現　在		

８．消防の組織・機構


組合議会
管理者
消防長
消防次長
会計管理者
消防本部
総務課
人事教養係
庶務係
予防課
予防係
保安係
消防防災課
防災係
救助係
消防団係
救急係
情報指令課
情報指令係
情報管理係
消防署
本署
第１消防係
第１消防車隊
第１救急車隊
第２消防係
第１消防車隊
第１救急車隊
内海分署
第１消防係
第３消防車隊
第２救急車隊
第２消防係
第３消防車隊
第２救急車隊
池田分署
第１消防係
第２消防車隊
第２消防係
第２消防車隊

９．事　務　分　掌

総　務　課

人事教養係

（１）　職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
（２）　職員の給与に関する事項
（３）　職員の公務災害補償に関する事項
（４）　職員の研修及び能率増進に関する事項
（５）　行政不服審査及び訴訟に関する事項
（６）　消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
（７）　消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶　務　係

（１）　公文書の収受及び発送に関する事項
（２）　完結文書の整理保管に関する事項
（３）　公印の保管に関する事項
（４）　規程等の審査に関する事項
（５）　消防年報に関する事項
（６）　財産の管理に関する事項
（７）　消防職員委員会に関する事項
（８）　各課の総合調整に関する事項
（９）　他課の所管に属さない事項

予　防　課

予　防　係

（１）　火災予防の指導に関する事項
（２）　建築確認等の同意に関する事項
（３）　防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
（４）　消防用設備等の設置に関する事項
（５）　防火対象物の違反処理に関する事項
（６）　火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
（７）　火気使用設備等の指導に関する事項
（８）　消防広報及び広聴に関する事項
（９）　自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
(10)　防火管理者の育成指導に関する事項
(11)　防火対象物定期点検報告制度に関する事項
(12)　前各号のほか、予防業務に関する事項

保　安　係

（１）　危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
（２）　危険物製造所等の指導取締りに関する事項
（３）　液化石油ガス設備工事届等に関する事項
（４）　その他危険物関係の指導に関する事項

消 防 防 災 課

防　災　係

（１）　防災計画に関する事項
（２）　防災対策に関する事項
（３）　防災演習に関する事項
（４）　消防機材の配置及び管理に関する事項
（５）　各町の地域防災計画に関する事項
（６）　消防水利に関する事項
（７）　災害報告に関する事項
（８）　前各号のほか、防災業務に関する事項

救　助　係

（１）　救助計画に関する事項
（２）　前各号のほか、救助業務に関する事項

消 防 団 係

（１）　消防団計画に関する事項
（２）　前各号のほか、消防団業務に関する事項

救　急　係

（１）　救急計画に関する事項
（２）　救急運用に関する事項
（３）　救急資機材の配置及び管理に関する事項
（４）　救急、救助年報に関する事項
（５）　前各号のほか、救急業務に関する事項

情 報 指 令 課

情報指令係

（１）　通信指令に関する事項
（２）　前各号のほか、情報指令に関する事項

情報管理係

（１）　個人情報の管理に関する事項
（２）　前各号のほか、情報管理に関する事項

１０．管内面積及び人口、世帯数　　平成 25 年 4 月 1 日現在

区分／町別	面積（㎢）	人口			世帯数（世帯）
		男（人）	女（人）	計（人）	
土庄町	74.39	7,148	8,189	15,337	6,923
小豆島町	95.63	7,650	8,454	16,104	7,143
合計	170.02	14,798	16,643	31,441	14,066

（住民基本台帳による）

１１．消防庁舎の現状

区分 / 署所別	所在地	構造	建築延面積	竣工年月日
本部・署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 4	鉄筋コンクリート ３階建	979.720 ㎡	S.47.12.30
内海分署	香川県小豆郡小豆島町安田 甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート ２階建	392.135 ㎡	S.48. 4.30
池田分署	香川県小豆郡小豆島町池田 2099 番地 4	鉄筋コンクリート ２階建	288.175 ㎡	S.47.12.30

１２.職員の勤務年数

平成 25 年 4 月 1 日現在

階級別 / 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
１年未満							６	６
１年～２年未満							３	３
２年～３年未満							３	３
３年～４年未満							２	２
４年～５年未満							７	７
５年～１０年未満						７	４	１１
１０年～１５年未満					２	３		５
１５年～２０年未満				１	３			４
２０年～２５年未満				６	６			１２
２５年～３０年未満				３				３
３０年以上		１	７	５				１３
合計		１	７	１５	１１	１０	２５	６９
平均		38	37.7	26.4	18.6	7.9	2.6	15.2

１３．職員の年齢

平成 25 年 4 月 1 日現在

階級別 / 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
１８才 ～ ２０才							５	５
２１才 ～ ２５才							１４	１４
２６才 ～ ３０才						７	６	１３
３１才 ～ ３５才					３	３		６
３６才 ～ ４０才					７			７
４１才 ～ ４５才				７	１			８
４６才 ～ ５０才				６				６
５１才 ～ ５５才			３	２				５
５６才 ～ ６０才		１	４					５
合計		１	７	１５	１１	１０	２５	６９
平均年齢		59	56	46.2	37.5	29.3	23.3	35.2

１４.職員の配置状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

階級別 / 署所別	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部		１	５	８	６	６	１２	３８
消防署			（５）	（８）	（６）	（６）	（１２）	（３７）
内海分署			１	４	４	２	８	１９
池田分署			１	２	１	２	５	１１
県防災航空隊				１				１
合計		１	７	１５	１１	１０	２５	６９

※（ ）内は兼務

１５.消防力の現勢

平成25年4月1日現在

		基準数	現有数	充足率
署所数		3	3	１００．０
指揮隊員		9	5	５５．６
消防隊員		７６	３４	４４．７
救急隊員		４５	１６	３５．５
救助隊員		－	０(内、兼務１６)	－
通信、望楼要員		5	４(内、兼務　１)	８０．０
予防要員		１４	１８(内、兼務１７)	１２８．６
庶務処理等の要員		8	６(内、兼務　４)	７５．０
消防ポンプ自動車		5	4	８０．０
はしご自動車		1	1	１００．０
化学車		2	－	－
救助工作車　（省令第４条）		1	1	１００．０
救急車		5	4	８０．０
特殊車等	指揮車	1	1	１００．０
	林野火災工作車	－	－	－
	電源・照明車	－	－	－
	排煙車	－	－	－
	査察広報車	－	1	－
	レッカー・クレーン車	－	－	－
	小型ポンプ付水槽車	－	1	－
	その他の車両	－	3	－
消防水利		６５９	２３８	３６．１

１６．消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

平成25年4月1日現在

区分／種別	人口（人）	世帯数（世帯）	面積（k㎡）
消防職員１人当り	456	204	2.46
消防ポンプ自動車１台当り	7,860	3,517	42.50
救急車１台当り	7,860	3,517	42.50
署１ヶ所当り	10,480	4,689	56.67

１７．消防予算

（１）歳　　入　　（単位：千円）

区　　分	平成２４年度予算額	平成２５年度予算額
１．分担金及び負担金	578,670	553,346
２．使用料及び手数料	100	100
３．国庫支出金		
４．県支出金		
５．財産収入		
６．寄付金		
７．繰越金		
８．諸収入		
９．組合債		44,700
合計	578,770	598,146

（２）歳　　出　　（単位：千円）

区　　分	平成２４年度予算額	平成２５度予算額
１．総務費	524,292	508,665
２．予防費	1,098	1,013
３．警防費	38,579	12,216
４．救急費	6,210	5,362
５．水防費	229	229
６．施設費	3,827	66,964
７．公債費	4,535	3,697
合計	578,770	598,146

１８．平成２５年度町別一般会計予算と消防予算

（単位：千円）

区　　分		土庄町	小豆島町	合　　計
一般会計予算額		7,631,000	8,000,000	15,631,000
消防費予算額	計	318,548	344,662	663,210
	常備消防費	245,298	308,048	553,346
	非常備消防費	52,151	32,261	84,412
	消防施設費	0	2,900	2,900
	水防費	959	1,450	2,409
	災害対策費	20,140	3	20,143
一般会計と消防費の比（％）		4.17	4.31	4.24
住民１人当りの消防費用（円）		20,769	21,402	21,094
一世帯当たりの消防費用（円）		46,013	48,252	47,150

１９．消防費基準財政需要額及び町負担金（決算額）

（単位：千円）

区分／町別	平成２４年度消防費基準財政需要額	平成２５年度町負担金額
土庄町	251,549	245,298
小豆島町	315,880	308,048
合計	567,429	553,346

２０．職員特殊技能資格取得状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

種別＼階級別		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
自動車運転免許	大型１種		1	4	6	6	8	１１	３６
	大型２種			1	1				2
	中型１種		1	6	１５	１１	１０	１３	５６
	普通１種							１２	１２
	自動２輪			2	3	3	3	9	２０
クレーン・玉掛け			1	3	6	6	2		１８
予防技術検定					3	3	1		7
消防用設備点検資格者第１種・第２種					1				1
消防設備士免許					2	2	1	2	7
危険物取扱者免許					6	4	8	１８	３６
特殊無線技士無線電話乙				1					1
第二級陸上特殊無線技士			1	3	8	9	3	1	２５
第三級陸上特殊無線技士				1	1	1			3
電話級アマチュア無線技士				1					1
小型船舶操縦士２級免許			1	3	9	5	1	7	２６
救急救命士				2	6	4		1	１３
応急手当指導員				2	１３	9	7	1	３２
石油機器技術管理士					1	1			2
第Ⅱ種酸素欠乏危険作業主任者					5	7	7		１９
潜水士					2	3			5
特定化学物質等作業主任者				1	2				3

２１．職員諸手当調

平成25年4月1日現在

区　　分		単位	金　　額	備　　考
管理職手当		月	３４，０００　円 ２４，０００　円 ２０，０００　円 １５，０００　円	消防長 次長・署長 副署長・課長・室長・分署長・主幹(日勤) 課長補佐及び副主幹（日勤者）
時間外勤務手当		時間	本俸×１２×１．２５（１．３５） (38.75×５２）―（１５×7.75)	時間外勤務を命ぜられた職員
夜間勤務手当		〃	本俸×１２×０．２５ (38.75×５２）―（１５×7.75)	深夜勤務を命ぜられた職員
夜間特殊業務手当		〃	５時間以上　７８０円 ２時間以上５時間未満　６５０円 ２時間未満　４１０円 １時間未満　２００円	同　　上
出動手当	火　　災	１回	４００円	出動隊員１名につき
	救　　急	〃	２２０円	〃
	救　　助	〃	４００円	〃
火災原因調査手当		〃	３００円	調査１回につき
救急救命士手当		月	３，０００円	救急救命士

２２．職員教養状況調

平成25年4月1日現在

区分＼階級別		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防大学校	上級幹部科		1						1
	幹部科			1					1
	警防科								
	予防科								
	救急科								
	救助科				1				1
香川県消防学校	初任科		1	7	１５	１１	１０	２５	６９
	初級幹部科				1	2			3
	中級幹部科			2	1				3
	上級幹部科		1						1
	予防査察科			1	8	2	2		１３
	危険物科				1	1	1		3
	火災調査科			2	3	4	2		１１
	警防科			2	2	4	2	1	１１
	救急科			1	１２	１０	7	3	３３
	救助科		1	6	3	7	7		２４
その他	救急救命士			2	6	4	0	1	１３

２３．職員の居住地調

平成25年4月1日現在

区分＼階級別	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
土庄町			2	6	6	5	14	33
小豆島町		1	5	9	5	5	11	36
合計		1	7	15	11	10	25	69

２４．職員任用退職状況調

平成25年4月1日現在

年度＼区分	新任	退職	転入	転出	職員総数
			入	出	
昭和６０年					67
昭和６１年	1	1	1		68
昭和６２年					68
昭和６３年	1				69
平成元年	3	2			70
平成２年	2	2		1	69
平成３年	3	2		1	69
平成４年	2	1			70
平成５年	2	2		1	69
平成６年	2				71
平成７年					71
平成８年	2	1	1	2	71
平成９年					71
平成１０年					71
平成１１年					71
平成１２年					71
平成１３年	1	1			71
平成１４年	2	2			71
平成１５年	3	1			73
平成１６年		2			71
平成１７年	1	1			71
平成１８年	5	5			71
平成１９年	2	2			71
平成２０年	3	5			69
平成２１年	7	7			69
平成２２年	2	2			69
平成２３年	3	3			69
平成２４年	3	3			69
平成２５年	6	6			69

２５．職員の推移

平成 25 年 4 月 1 日現在

階級別 / 年度別	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
昭和６０年	1		5	7	18	32	4	67
昭和６１年		2	4	7	26	25	4	68
昭和６２年		2	4	7	33	18	4	68
昭和６３年	1	1	4	7	33	20	3	69
平成　元年	1	1	4	7	38	13	6	70
平成　２年	1	1	5	7	36	11	8	69
平成　３年	1	2	4	10	31	12	9	69
平成　４年	1	2	4	14	28	10	11	70
平成　５年	1	2	3	18	26	9	10	69
平成　６年	1	2	3	18	26	9	12	71
平成　７年	1	2	4	19	26	8	11	71
平成　８年	1	4	3	17	25	11	10	71
平成　９年	1	4	3	22	22	11	8	71
平成１０年	1	4	3	27	18	13	5	71
平成１１年	1	4	3	28	19	12	4	71
平成１２年	1	5	4	30	16	12	3	71
平成１３年	1	4	4	32	15	12	3	71
平成１４年	1	3	5	32	15	11	4	71
平成１５年		3	9	29	15	12	5	73
平成１６年		2	9	29	17	9	5	71
平成１７年	1	2	8	30	16	8	6	71
平成１８年	1	5	3	29	17	5	11	71
平成１９年	1	5	6	27	15	6	11	71
平成２０年	1	3	7	25	14	7	12	69
平成２１年		2	5	23	14	6	19	69
平成２２年		2	9	21	10	7	20	69
平成２３年		1	13	15	12	6	22	69
平成２４年		1	13	15	11	9	20	69
平成２５年		1	7	15	11	10	25	69

予　　防

１．主たる予防行事（平成２４年）

１月１０日
～２８日　重要文化財の予防査察
３月　１日
～　７日　春季全国火災予防運動
３月６、７日　香川県小豆総合事務所建築との合同立入検査
５月１１日　平成２４年度小豆島防火安全協会役員会
５月～９月　防火対象物定期点検報告制度に基づく立入検査
６月　３日
～　９日　危険物安全週間
６月　８日　平成２４年度香川県危険物安全大会
７月　２日　平成２４年度小豆島防火安全協会定時総会
７月　９日　平成２４年度小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会総会
７月　９日　平成２４年度小豆地区少年婦人防火委員会
８月　３日　危険物取扱者保安講習
９月２１日　平成２４年度県下予防事務担当者会議　（小豆）
１０月２２日～
１１月１４日　移動タンク貯蔵所立入検査
１１月　９日
～１５日　秋季全国火災予防運動
１１月２２日　移動タンク貯蔵所路上検査
１２月１０日　香川県小豆総合事務所建築との合同立入検査

２．「防火優良認定」交付対象物状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

区分 / 用途	定期点検報告制度対象物数	防火優良認定交付対象物数	交付率（%）
旅館・ホテル等	32	23	71

３．自主防災組織の現況

平成 25 年 7 月 1 日現在

○　小豆島防火安全協会（会員数３０４事業所）
○　小豆地区少年婦人防火委員会 ― 各地区少年消防クラブ
　　　　　　　　　　　　　　　 ― 各地区婦人防火クラブ
○　小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ― 各地区婦人防火クラブ

少年消防クラブ（　５クラブ　　138名）

平成25年5月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
安田少年消防クラブ	昭和２６年１２月　８日	58名	地　区	小豆島町
坂手　〃	昭和２８年　５月　５日	5名	〃	〃
鹿島　〃	昭和５４年１２月　３日	29名	〃	土庄町
橘　〃	昭和５５年　５月３０日	24名	〃	小豆島町
大木戸　〃	昭和５７年　４月　１日	22名	〃	土庄町

婦人防火クラブ（　１３クラブ　　1,123名）

平成25年6月1日現在

クラブの名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
苗羽婦人防火クラブ	昭和２０年１０月１０日	124名	地　区	小豆島町
坂手　〃	昭和２２年　４月　１日	70名	〃	〃
草壁　〃	昭和２３年　４月　１日	124名	〃	〃
福田　〃	昭和２４年　４月　１日	休　止	〃	〃
安田　〃	昭和２４年　７月１１日	64名	〃	〃
西村　〃	平成１３年　４月　１日	90名	〃	〃
土庄町婦人防火クラブ連合会	昭和５４年１２月　３日	兼　務	〃	土庄町
〃　土庄支部	昭和２６年　１月　１日	90名	〃	〃
〃　渕崎支部	〃	130名	〃	〃
〃　大鐸支部	〃	20名	〃	〃
〃　北浦支部	〃	102名	〃	〃
〃　四海支部	〃	79名	〃	〃
〃　豊島支部	〃	休　止	〃	〃
池田婦人防火クラブ	昭和３７年　１月　７日	205名	〃	小豆島町
馬越婦人消防クラブ	昭和５６年　８月　１日	25名	〃	土庄町

４．防火対象物現況表（１５０㎡以上）

平成25年4月1日現在（単位：棟）

項目		町別 / 防火対象物区分	土庄町		小豆島町		合計	
			防火対象物数	法８対象物数	防火対象物数	法８対象物数	防火対象物数	法８対象物数
(1)	イ	劇場・映画館等						
	ロ	公会堂又は集会場	32	32	30	30	62	62
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	2	2			2	2
	ロ	遊技場又はダンスホール	2	2			2	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等			1	1	1	1
(3)	イ	待合・料理店	1				1	
	ロ	飲食店	17	11	10	8	27	19
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	31	20	27	20	58	40
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	52	40	40	28	92	68
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	70	4	90	13	160	17
(6)	イ	病院・診療所等	10	2	10	4	20	6
	ロ	養護老人ホーム等	6	6	6	6	12	12
	ハ	老人デイサービスセンター等	14	11	13	7	27	18
	ニ	幼稚園・養護学校等	3	3	5	3	8	6
(7)		小・中・高・大学各種学校	26	8	23	8	49	16
(8)		図書館・博物館等	4	2	8	6	12	8
(9)	イ	サウナ等						
	ロ	公衆浴場						
(10)		停車場等	5		6		11	
(11)		神社・寺院・教会	21	4	18	5	39	9
(12)	イ	工場又は作業場	137	4	188	17	325	21
	ロ	映画・テレビスタジオ			1		1	
(13)		自動車車庫・駐車場	16		8		24	
(14)		倉庫	63		82		145	
(15)		前各項に該当しない事業場	44	12	56	19	100	31
(16)	イ	複合・特定防火対象物	61	33	49	34	110	67
	ロ	イ以外の複合用途対象物	17	1	12	1	29	2
(17)		重要文化財建造物等	2		2		4	
合計			636	197	685	210	1321	407

５．防火管理者選任届状況

平成 25 年 4 月 1 日現在（単位：棟）

項目	町別 / 防火対象物区分		土庄町	小豆島町	合計
(1)	イ	劇場・映画館等			
	ロ	公会堂又は集会場	10	22	32
(2)	イ	キャバレー・カフェー等			
	ロ	遊技場又はダンスホール	2		2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ	カラオケボックス等		1	1
(3)	イ	待合・料理店			
	ロ	飲食店	3	6	9
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	16	13	29
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	39	27	66
	ロ	共同住宅・寄宿舎等		3	3
(6)	イ	病院・診療所等	2	4	6
	ロ	養護老人ホーム等	6	5	11
	ハ	老人デイサービスセンター等	14	9	23
	ニ	幼稚園・養護学校等	3	3	6
(7)		小・中・高・大学各種学校	8	8	16
(8)		図書館・博物館等	1	5	6
(9)	イ	サウナ等			
	ロ	公衆浴場			
(10)		停車場等	1		1
(11)		神社・寺院・教会	2	5	7
(12)	イ	工場又は作業場	6	12	18
	ロ	映画・テレビスタジオ			
(13)		自動車車庫・駐車場		1	1
(14)		倉庫			
(15)		前各項に該当しない事業場	7	11	18
(16)	イ	複合・特定防火対象物	17	26	43
	ロ	イ以外の複合用途対象物		1	1
(17)		重要文化財建造物等			
合計			137	162	299

６．建築同意事務処理状況

（１）町別状況　　（面積：㎡）

町別 / 工事別	土庄町		小豆島町		合計	
	件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
新築	6	9538.68	7	1672.3	13	11210.98
増築	1	209.62	1	148.87	2	358.49
改築						
用途変更			2	1258.21	2	1258.21
移転						
増改築						
大規模な修繕						
大規模な模様替え						
その他	2	707.05			2	707.05
合計	9	10455.35	10	3079.38	19	13534.73

（２）月別・工事別状況　　（面積：㎡）

区分 / 工事別		新築	増築	改築	用途変更	その他	合計
4月	件数						
	延面積						
5月	件数						
	延面積						
6月	件数					1	1
	延面積					496.28	496.28
7月	件数	1					1
	延面積	354.23					354.23
8月	件数						
	延面積						
9月	件数	1	1			1	3
	延面積	178.00	209.62			210.77	598.39
10月	件数						
	延面積						
11月	件数	2			2		4
	延面積	231.52			1258.21		1489.73
12月	件数	1					1
	延面積	34.72					34.72
1月	件数	4	1				5
	延面積	958.40	148.87				1107.27
2月	件数	1					1
	延面積	373.46					373.46
3月	件数	3					3
	延面積	9080.65					9080.65
合計	件数	13	2		2	2	19
	延面積	11210.98	358.49		1258.21	707.05	13534.73

（３）用途別状況

（面積：㎡）

項目		町別 / 防火対象物区分	土庄町		小豆島町		合計	
			件数	延面積	件数	延面積	件数	延面積
(1)	イ	劇場・映画館等						
	ロ	公会堂又は集会場	1	496.28			1	496.28
(2)	イ	キャバレー・カフェー等						
	ロ	遊技場又はダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店	1	373.46			1	373.46
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	1	209.12	1	196.72	2	405.84
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所						
	ロ	共同住宅・寄宿舎等						
(6)	イ	病院・診療所等						
	ロ	養護老人ホーム等						
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	209.62	1	354.23	2	563.85
	ニ	幼稚園・養護学校等						
(7)		小・中・高・大学各種学校	1	8674.81			1	8674.81
(8)		図書館・博物館等						
(9)	イ	サウナ等						
	ロ	公衆浴場						
(10)		停車場等						
(11)		神社・寺院・教会						
(12)	イ	工場又は作業場	1	181.74	1	178.00	2	359.74
	ロ	映画・テレビスタジオ						
(13)		自動車車庫・駐車場						
(14)		倉庫			2	841.85	2	841.85
(15)		前各項に該当しない事業場	2	99.55	2	1258.21	4	1357.76
(16)	イ	複合・特定防火対象物						
	ロ	イ以外の複合用途対象物			1	148.87	1	148.87
(17)		重要文化財建造物等						
その他					1	34.72	1	34.72
住宅			1	210.77	1	66.78	2	277.55
合計			9	10455.35	10	3079.38	19	13534.73

7．危険物施設の現況

種別＼町別		土庄町	小豆島町	合計
製造所				
貯蔵所	屋内貯蔵所	1	11	12
	屋外貯蔵所	1	2	3
	屋内タンク貯蔵所			
	屋外タンク貯蔵所	18	25	43
	地下タンク貯蔵所	22	18	40
	簡易タンク貯蔵所	2	1	3
	移動タンク貯蔵所	22	21	43
	小計	66	78	144
取扱所	給油取扱所	22	20	42
	第1種販売取扱所	3	1	4
	第2種販売取扱所			
	一般取扱所	13	12	25
	小計	38	33	71
合計		104	111	215

8．危険物施設の許認可状況

種別＼区分		設置許可	変更許可	完成検査（設置）	完成検査（変更）	仮使用承認	仮貯蔵及び仮取扱承認	保安監督者選任届	保安監督者解任届	廃止届	合計
製造所											
貯蔵所	屋内貯蔵所	2		2				6	4		14
	屋外貯蔵所										
	屋内タンク貯蔵所										
	屋外タンク貯蔵所		5			5					10
	地下タンク貯蔵所			1	1			2	2		6
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所	1	1	1	1						4
	小計	3	6	4	2	5		8	6		34
取扱所	給油取扱所		8		6	6		8	7	3	38
	第1種販売取扱所										
	第2種販売取扱所										
	一般取扱所							2	2		4
	小計		8		6	6		10	9	3	42
合計		3	14	4	8	11		18	15	3	76

９．各種届出事務処理状況

種別＼町別	土庄町	小豆島町	合計
工事整備対象設備等着工届	5	14	19
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	24	28	52
消防用設備等点検結果報告	93	83	176
防火対象物使用開始届	12	10	22
防火管理者選任（解任）届	15	26	41
消防計画書作成（変更）届	23	32	55
消火・避難訓練実施届	75	74	149
り災証明	2	3	5
ボイラー設置届	2	2	4
乾燥設備設置届			
発電変電蓄電池設備設置届	3	10	13
ネオン管灯設備設置届			
水素ガスを充填する気球の設置届			
火災とまぎらわしい行為の届	10	45	55
煙火打ち上げ・仕掛届	8	11	19
催物開催届	3		3
少量危険物貯蔵取扱届	16	3	19
圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届			
液化ガス貯蔵取扱届		3	3
液化石油ガス設備工事届			
旅館等適合通知書交付申請	2	1	3
合計	293	345	638

１０．広報・広聴実施状況

町別＼種別＼対象	土庄町			小豆島町			合計		
	回数	対象人員数	指導職員数	回数	対象人員数	指導職員数	回数	対象人員数	指導職員数
学校	1	277	2	1	344	6	2	621	8
幼稚園等	7	334	14	11	612	47	18	946	61
旅館	20	40	40	7	18	20	27	58	60
工場・作業場	2	91	4	1	120	1	3	211	5
婦人会									
老人会									
その他	24	570	48	10	142	26	34	712	74
合計	54	1312	108	30	1236	100	84	2548	208

１１．中高層建築物（４階以上）の現況表

項目		町別 ＼ 階別 ／ 対象物	土庄町							小豆島町							合計							
			四階	五階	六階	七階	八階	十階	小計	四階	五階	六階	八階	十階	十三階	小計	四階	五階	六階	七階	八階	十階	十三階	合計
(1)	イ	劇場・映画館等																						
	ロ	公会堂又は集会場	1						1								1							1
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	1						1								1							1
	ロ	遊技場又はダンスホール																						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																						
	ニ	カラオケボックス等																						
(3)	イ	待合・料理店																						
	ロ	飲食店																						
(4)		百貨店・マーケット・店舗等																						
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	7	3			2	1	13	2					1	3	9	3			2	1	1	16
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	7	4	1				12	16	17	2				35	23	21	3					47
(6)	イ	病院・診療所等		1					1		2	2				4		3	2					5
	ロ	養護老人ホーム等	1						1	5						5	6							6
	ハ	老人デイサービスセンター等	2						2								2							2
	ニ	幼稚園・養護学校等																						
(7)		小・中・高・大学各種学校	1						1	1						1	2							2
(10)		停車場等																						
(11)		神社・寺院・教会		1					1									1						1
(12)	イ	工場・作業場	1						1	1	1					2	2	1						3
	ロ	映画・テレビスタジオ																						
(14)		倉庫																						
(15)		前各項に該当しない事業場	1			1			2	4						4	5			1				6
(16)	イ	複合・特定防火対象物	6			1			7		2			1		3	6	2		1		1		10
	ロ	イ以外の複合用途対象物	6						6		1			2		3	6	1				2		9
(17)		重要文化財建造物等																						
合計			34	9	1	2	2	1	49	29	23	4		3	1	60	63	32	5	2	2	4	1	109

消　防　防　災

防　災　係･救　助　係

近年、社会情勢の進展に伴い各種災害は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあり、住民の消防に寄せる期待はますます高まっています。

これらの災害から地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、資器材の整備による防災体制の充実強化、教養訓練の実施による職員の資質向上に努めています。

また、職員の高齢化に対応するため、消防車両をはじめとする各種資器材、装備品の軽量少力化を図っています。

救　急　係

救急業務の応急処置範囲拡大に伴い、高度救急資器材の整備充実を図り、救急隊員の資質の向上に努めるとともに、応急手当の普及啓発活動を積極的に推進し、地域住民、救急隊、医療機関との連携強化を図り、傷病者の救命率向上と救急体制の万全を期するように努めています。

また、平成９年１１月から管内の病院の協力を得て、救急救命士による特定行為の高度救急救命処置を実施するなど、住民の信頼に応えるために鋭意努力しています。

１．主たる警防行事（平成２４年）

１月　８日	土庄町消防出初式	
８日	小豆島町消防出初式	
７月１１日	第４１回消防救助技術四国地区指導会	（松山市）
８月　７日	第４１回全国消防救助技術大会	（東京都）
９月　２日	香川県総合防災訓練	（さぬき市）
９日	平成２４年度香川県消防操法大会	（香川県消防学校）
２８日	平成２４年度県下警防事務担当者会議	（高松市）
１１月　１日	平成２４年度中国四国ブロック	
～　２日	緊急消防援助隊合同訓練	（山口市）
１１月１６日	平成２４年度全国消防長会四国支部警防事務担当者会議	（高松市）

（救急）

１月２２日	第１回香川県ＭＣＬＳ標準コース	（高松市）
２月　１日	第２０回全国救急隊員シンポジウム	
～　２日		（浜松市）
２月２３日	平成２３年度　第４回事後検証会議	（高松市）
３月　８日	平成２３年度　中国四国ブロック小児救急研修会	
～　９日		（善通寺市）
３月２７日	平成２３年度　香川県メディカルコントロール協議会	（高松市）
３月３０日	平成２４年度　事後検証症例発表会	（高松市）
４月２５日	平成２４年度　救急担当者会議	（高松市）
６月２５日	第１回事後検証会議	（高松市）
７月２０日	平成２４年度　第１回メディカルコントロール協議会検討部会	（高松市）
９月　４日	香川救命救急研究会　講演会	（高松市）
９月１２日	第２回事後検証会議	（高松市）
１０月　５日	平成２４年度　第２回メディカルコントロール協議会検討部会	（高松市）
１０月１５日	平成２４年度　新救急システム担当者会議	（高松市）
１０月１９日	平成２４年度　県下救急事務担当者会議	（琴平町）
１１月　６日	平成２４年度　消防実務講習会	（松山市）
１１月１７日	第１１回香川救命救急講演会	（高松市）
１２月　５日	平成２４年度　第３回事後検証会議	（高松市）
１２月　９日	第１８回香川外傷セミナー	（高松市）
１２月１７日	平成２４年度　第３回メディカルコントロール協議会検討部会	（高松市）
１２月２２日	ドクターヘリ活動検証会	（倉敷市）

２．消防車両等配置状況

平成25年4月1日現在

	名　　称	種　　別	車名	購入年月日	備　　考
本署	指　揮　車	指揮車	トヨタ	平成２５年１２月１９日	
	ポンプ１号車	水槽車小型動力ポンプＢ－3	三　菱	平成　５年１２月　７日	水槽2，６００ℓ
	ポンプ２号車	消防ポンプ車CD-1	日　野	平成２４年　３月　２日	水槽６００ℓ CAFS装置付き
	はしご車	はしご車　３５m級	日　野	平成　６年１１月１７日	
	救助工作車	救助工作車Ⅱ型	日　野	平成１６年　３月１９日	
	防災工作車１号車	積載車	三　菱	平成２２年　９月１２日	
	救急１号車	高規格救急車　ハイエース	トヨタ	平成２０年　１月２３日	
	救急２号車	高規格救急車　グランビア	トヨタ	平成　９年１０月２３日	
	査察広報車		三　菱	平成２２年　８月２６日	
	防火広報車		ホンダ	平成１２年１０月１１日	
内海分署	ポンプ５号車	消防ポンプ車ＣＤ－１	三　菱	平成　３年　８月２９日	高圧ポンプ水槽８００ℓ
	ポンプ６号車	消防ポンプ車ＣＤ－１	日　野	平成１７年　３月２３日	
	防災工作車３号車	積載車	三　菱	平成　２３年　９月２９日	
	救急３号車	高規格救急車　グランビア	トヨタ	平成１５年　３月２０日	
	救急４号車	高規格救急車　ハイエース	トヨタ	平成２１年１１月２７日	
池田分署	ポンプ３号車	消防ポンプ車ＣＤ－１	三　菱	平成１８年　３月２７日	水槽　７００ℓ
	防災工作車２号車	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	平成　元年　９月１２日	Ｂ－３積載

３．主な機械器具の配置状況

平成25年4月1日現在

器具別 ＼ 署所別		本署	内海分署	池田分署	合計
放水器具	消防用ホース６５㎜	86	66	67	219
	消防用ホース５０㎜	138	100	100	338
	高　圧ホース２５㎜	－	12	－	12
	小型動力ポンプ　Ｂ－３級	1	1	1	3
	小型動力ポンプ　Ｃ－１級	1	－	－	1
	手引ホースカー	2	2	1	5
	フォグガン	2	2	1	5
	無反動ノズル	2	－	2	4
	放水銃	2	1	1	4
	集水器	6	3	3	12
	低発砲ノズル８００ℓ型	1	1	1	3
	低発砲ノズル４００ℓ型	1	1	1	3
	低発砲ノズル２００ℓ型	－	4	1	5
	ユニット式プロポーショナー	1	1	1	3
	ラインプロポーショナー	2	1	1	4
	ピックアップ式泡ノズル	2	1	1	4
	ウォーターチャージャー	－	－	1	1
	背負式ポンプ	6	7	5	18
	簡易水槽	1	－	1	2
一般救助用器具	かぎ付はしご	2	1	－	3
	三連はしご	2	1	－	3
	救命索発射銃	2	1	1	4
	サバイバースリング又は救助用縛帯	4	2	3	9
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1	1	1	3
	油圧スプレッダー	1	1	―	2
	可搬ウィンチ	2	1	1	4
	マット型空気ジャッキ	2	1	1	4
	大型油圧スプレッダー	1	1	－	2
切断用器具	エンジンカッター	2	1	1	4
	酸素溶断器	1	－	－	1
	チェンソー	2	2	2	6
	鉄線カッター	4	5	3	12
	大型油圧切断機	1	1	－	2
	空気切断機	1	2	1	4
破壊用器具	万能斧	2	3	－	5
	削岩機	1	1	－	2
	ハンマードリル	3	1	－	4
測定用器具	複合ガス検知器	2	1	1	4

呼吸保護用器具	空気呼吸器	13	8	5	26
	予備ボンベ	13	7	9	29
	空気補充用ボンベ	2	－	－	2
	防塵マスク	26	18	11	55
	送排風機	1	－	－	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	1	1	4
	耐電衣	3	－	－	3
	耐電ズボン	3	－	－	3
	耐電長靴	3	－	－	3
	耐電手袋	3	6	－	9
	防塵メガネ	26	18	11	55
水難救助用器具	救命胴衣	24	14	11	49
	救命浮環	3	2	2	7
	救命ボート	2	2	2	6
	船外機	1	－	－	1
山岳救助用器具	バスケット型担架	2	1	1	4
その他の救助用器具	投光器	6	2	4	12
	携帯拡声器	8	1	1	10
	応急処置用セット	2	－	－	2
	緩降機	1	－	－	1
	発電機	5	2	1	8
その他の器具	空気充填機	1	－	－	1
	モッコ	1	－	－	1
救急器具	携帯用酸素蘇生機	2	2	1	5
	自動体外式除細動器	3	2	1	6
	自動式心臓蘇生装置	1	1	－	2
	ショックパンツ	3	2	－	5
	患者監視モニター	3	2	－	5
	救急資機材減菌器	1	1	－	2
	殺菌消毒スタンド	1	1	－	2
	全脊柱固定具	3	3	1	7

４．消火薬剤の備蓄状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

署所別 / 薬剤種別	本　署	内海分署	池田分署	合　計
化学消火薬剤 たん白系３％型	1,020ℓ	1,000ℓ	800ℓ	2,820ℓ

５．消防水利の状況

平成 25 年 4 月 1 日現在

種別＼町別			土庄町	小豆島町	合計
防火水槽	40㎥以上	公設	52	96	148
		私設	－	－	－
	40㎥未満	公設	8	4	12
		私設	－	－	－
消火栓	150㎜以上	公設	77	138	215
		私設	－	－	－
	150㎜未満	公設	560	347	907
		私設	－	－	－
その他	プール		8	11	19
	池		40	44	84
	海		38	57	95
	井戸		13	16	29
合計			796	713	1,509

６．警防関係届出事務処理状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

種別＼署所別	本署	内海分署	池田分署	合計
消防活動に支障をおよぼす恐れのある道路占用届出	10	23	9	42

７．災害別出動状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

区分＼種別	火災		救助		風水害等の災害		誤報等		その他		合計	
災害件数	19 件		7 件		-件		18 件		96 件		140 件	
出動内訳	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
本署	17	129	4	25	－	－	7	40	34	170	62	364
内海分署	15	59	2	11	－	－	7	25	34	113	58	208
池田分署	17	62	5	18	－	－	8	26	34	117	64	223
合計	49	250	11	54	－	－	22	91	102	400	184	795

８．救急法指導状況

（１）普通救命講習Ⅰ実施状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

月　　日	対　象　団　体	対象人員	指導人員
3 月 13 日(火)	㈱アース・プランニング職員	2	2
5 月　9 日(水)	リベラルサンシャイン施設職員	8	2
7 月 11 日(水)	かどや製油㈱従業員	6	1
7 月 12 日(木)	両備グループ従業員	5	1
7 月 18 日(水)	オリビアン小豆島従業員	6	1
9 月　8 日(土)	「救急の日」一般公募申込者	１６	3
9 月　9 日(日)	「救急の日」一般公募申込者	１６	3
10 月 21 日(日)	小豆郡ジュニアリーダー、役員	１４	2
10 月 23 日(火)	坂手海上保安署　職員	１０	2
10 月 25 日(木)	坂手海上保安署　職員	１０	2
10 月 26 日(金)	小豆総合事務所　職員	１８	3
12 月 10 日(月)	土庄町森林組合作業員	7	1
合計		１１８	２３

（２）救急講習会実施状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

月　日	対　象　団　体	対象人員	指導人員
3月　7日(水)	小豆島病院職員(看護士、看護助手、介護士、薬剤師)	２７	2
3 月 25 日(日)	豊島唐櫃地区(消防団含む)	５１	2
3 月 29 日(木)	リベラルサンシャイン職員	４４	2
3 月 29 日(木)	ベイリゾートホテル従業員	２４	4
4 月 10 日(火)	大部幼児園教職員	5	1
6月　5日(火)	土庄高校２年生　「家庭看護・福祉」選択者	２７	4
6 月 13 日(水)	北浦小学校保護者、幼児園教職員	１８	2
6 月 14 日(木)	土庄町商工会女性部部員	２０	3
6 月 15 日(金)	北浦幼児園教職員、保護者	8	2
6 月 17 日(日)	渕崎小学校保護者、生徒（4 年 5 年、6 年)	１４０	5
6 月 20 日(水)	土庄小学校教職員、保護者	５３	5
6 月 20 日(水)	星城小学校教職員	１８	4
6 月 21 日(木)	小豆島町内プール監視員等	３０	4
6 月 22 日(金)	池田小学校教教員、保護者	５２	2
6 月 29 日(金)	渕崎小学校大鐸保護者	２５	2
7月　1日(日)	豊島小学校生徒、教職員、保護者	６５	4
7月　4日(水)	大鐸幼児園教職員、保護者	２２	2
7月　6日(金)	四海小学校教職員、保護者	４５	2
7 月 10 日(火)	小豆島ふるさと村職員、バイト	２３	2
7 月 20 日(金)	土庄町子育て支援センター（母親）	１１	1
7 月 22 日(日)	小豆島ふるさと村職員、バイト、 カヤックインストラクター	２０	2
7 月 19 日(木)	特別養護老人ホーム　マリアの園介護職員	１６	1
8 月 30 日(木)	宝食品㈱職員	１４	4
9月　2日(日)	戸形地区自治会員、消防団	４０	2
9月　2日(日)	小豆島山の会	１２	2

9月　9日(日)	土庄高校生徒、教職員、保護者	４０	5
9月 13 日(木)	土庄税務署職員	8	4
9月 18 日(火)	特別養護老人ホーム　マリアの園介護職員	１９	4
10月　6日(土)	渕崎小学校保護者、児童	１７１	5
10月 22 日(月)	北地自治会	１２	1
10月 29 日(月)	北地自治会	１２	1
11月 11 日(日)	渕崎小学校保護者、生徒	１２１	4
11月 20 日(火)	タートルマラソン警備担当職員	5	1
12月 18 日(日)	特別養護老人ホーム　マリアの園介護職員	１５	1
合計		１２１３	９２

（3）「いのちの先生」実施状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

月　日	対　象　団　体	対象人員	指導人員
11月 21 日(水)	豊島小学校　全校生徒、教員	２７	1
合　　計		２７	1

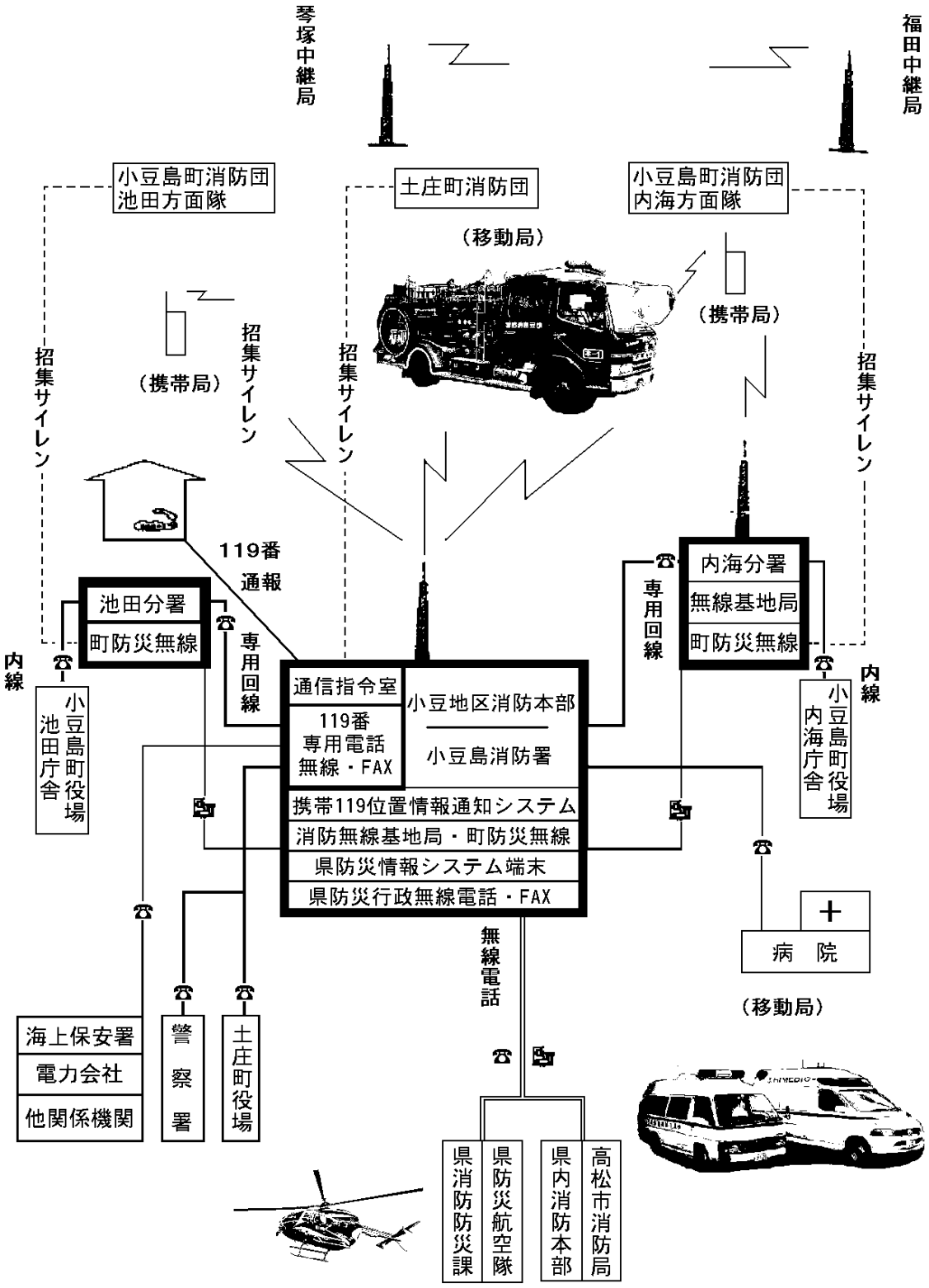
情　報　指　令

情報指令係･情報管理係

市街地等の都市構造の変化や、高齢化社会の進展に伴い、災害及び救急発生件数は年々増加し、災害態様は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあります。

通信に於いては、災害情報を迅速かつ正確に把握し、消防及び救急活動の初動体制を強化するため、平成１２年４月から「消防緊急通信指令システム」を導入により情報収集処理技術の高度化が図られています。

1. 消防通信系統図


琴塚中継局
福田中継局
小豆島町消防団
池田方面隊
土庄町消防団
小豆島町消防団
内海方面隊
（移動局）
（携帯局）
（携帯局）
招集サイレン
招集サイレン
招集サイレン
招集サイレン
119番
通報
池田分署
町防災無線
専用回線
内線
小豆島町役場
池田庁舎
通信指令室
119番
専用電話
無線・FAX
小豆地区消防本部
小豆島消防署
携帯119位置情報通知システム
消防無線基地局・町防災無線
県防災情報システム端末
県防災行政無線電話・FAX
専用回線
内海分署
無線基地局
町防災無線
内線
小豆島町役場
内海庁舎
病　院
（移動局）
無線電話
海上保安署
電力会社
他関係機関
警察署
土庄町役場
県消防防災課
県防災航空隊
県内消防本部
高松市消防局

２．通信施設状況

小豆島消防署

平成25年4月1日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	市町村波	県内波	全国波1	全国波2	全国波3	流対協波	購入年月日
通信指令室	基地局	しょうずしょうぼう	10w		○	○	○	○		平成　8年　3月19日
〃	固定局	〃	5w	○						昭和53年　3月31日
〃	基地局	〃	10w	○						昭和59年　3月31日
琴塚いこいの家	〃	しょうずしょうぼうことづか	〃	○						昭和53年　3月31日
〃	〃	〃	5w	○						〃
ポンプ1号車	移動局	しょうずしょうぼう　1	10w	○	○	○	○	○		平成10年　3月11日
タンク車	〃	〃　2	〃	○	○	○	○	○		平成　6年　1月　7日
救助工作車	〃	〃　3	〃	○	○	○	○	○		平成16年　3月19日
防災工作車1号車	〃	〃　4	〃	○	○	○	○	○		平成　3年　3月　1日
指揮車	〃	〃　5	〃	○	○	○	○	○		〃
防火広報車	〃	〃　7	〃	○	○	○	○	○		昭和59年　2月29日
査察広報車	〃	〃　8	〃	○	○	○	○	○		昭和57年　2月23日
指揮車	〃	〃　10	〃	○	○	○	○	○		昭和63年　1月　6日
はしご車	〃	〃　11	〃	○	○	○	○	○		平成　6年12月　6日
高規格救急車	〃	しょうずきゅうきゅう　1	〃	○	○	○	○	○		平成11年　3月17日
高規格救急車	〃	〃　2	〃	○	○	○	○	○		平成　9年12月　3日
	携帯局	しょうずしょうぼう 101	1w	○	○	○	○	○		平成11年　3月17日
	〃	〃　102	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃　103	〃	○	○	○	○	○		平成15年　9月11日
	〃	〃　104	〃	○	○	○	○	○		平成10年　3月20日
	〃	〃　105	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃　106	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃　107	〃	○	○	○	○			平成16年　9月　6日
	〃	〃　108	〃	○	○	○	○			昭和52年　3月29日
	〃	〃　109	〃	○	○	○	○			昭和54年　3月28日
	〃	〃　111	〃	○	○	○	○			昭和63年　1月　6日
	〃	〃　112	〃	○	○	○	○			昭和57年　2月23日
	〃	〃　113	〃	○	○	○	○	○		平成　7年　1月29日
	〃	〃　114	〃	○	○	○	○	○		〃

内海分署

平成25年4月1日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	市町村波	県内波	全国波1	全国波2	全国波3	流対協波	購入年月日
通信室	基地局	しょうずしょうぼううちのみ	10w	○						昭和６１年　３月１２日
福田消防屯所	〃	しょうずしょうぼうふくだ	5w	○						昭和５４年　３月２３日
通信室	固定局	しょうずしょうぼううちのみ	〃	○						〃
福田消防屯所	〃	しょうずしょうぼうふくだ	〃	○						〃
ポンプ６号車	移動局	しょうずしょうぼう　５１	10w	○	○	○	○	○		平成１７年　３月２５日
ポンプ５号車	〃	〃　５２	〃	○	○	○	○	○		平成　４年　２月１０日
防災工作車３号車	〃	〃　５３	〃	○	○	○	○	○		昭和６１年　２月　４日
〃	〃	〃　５４	〃	○	○	○				昭和５２年　１月１９日
高規格救急車	〃	しょうずきゅうきゅう　３	〃	○	○	○	○	○		平成１２年　３月２９日
高規格救急車	〃	〃　４	〃	○	○	○	○	○		平成　元年　１月２３日
	携帯局	しょうずしょうぼう　７１	〃	○	○	○	○	○		平成　８年　３月１９日
	〃	〃　５０１	1w	○	○	○	○	○		平成１５年　９月１１日
	〃	〃　５０２	〃	○	○	○	○	○		平成１３年１２月　６日
	〃	〃　５０３	〃	○	○	○	○			平成１８年　８月２３日
	〃	〃　５０４	〃	○	○	○	○			平成１９年　９月　４日
	〃	〃　５０５	〃	○	○	○	○			昭和５６年　３月１１日
	〃	〃　５０６	〃	○	○	○	○			〃
	〃	〃　５０７	〃	○	○	○	○			昭和５７年　２月２３日

池田分署

平成25年4月1日現在

設置場所	局種	呼出名称	出力	市町村波	県内波	全国波1	全国波2	全国波3	流対協波	購入年月日
ポンプ３号車	移動局	しょうずしょうぼう　３１	10w	○	○	○	○	○		平成１８年　３月２８日
団本軽四車	〃	〃　３２	〃	○	○	○	○	○		昭和６０年　２月１２日
防災工作車２号車	〃	〃　３３	〃	○	○	○	○	○		昭和６２年　３月１８日
	携帯局	〃　７２	〃	○	○	○	○	○		平成　８年　３月１９日
	〃	〃　３０１	1w	○	○	○	○	○		平成１１年　３月１７日
	〃	〃　３０２	〃	○	○	○	○	○		〃
	〃	〃　３０３	〃	○	○	○	○			昭和５２年　３月２９日
	〃	〃　３０４	〃	○	○	○	○	○		平成１５年　９月１１日
	〃	〃　３０５	〃	○	○	○	○	○		平成　９年　３月１９日

３．１１９番受信状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

区分／月別	火　災	救　急	救　助	問い合わせ	試　験	悪　戯	間違い	その他	合　計
１月	２	８９	１	５	１７	２	３	２８	１４７
２月	２	９５	４	３	１０	３	３	２５	１４５
３月	４	７６	３	７	１９	２	３	３３	１４７
４月	１	８６	０	６	１７	１	４	２５	１４０
５月	０	７８	１	１０	１７	３	５	３３	１４７
６月	１	７４	４	４	１５	１	６	３１	１３６
７月	１	１００	１	６	２１	５	７	４１	１８２
８月	４	１０８	０	２４	２２	２	５	４０	２０５
９月	２	６３	０	６	１９	１	４	３５	１３０
１０月	０	６２	０	３	１７	１	４	３２	１１９
１１月	１	８７	２	８	１５	２	５	２９	１４９
１２月	１	９９	０	６	１５	３	４	２８	１５６
合　計	１９	１０１７	１６	８８	２０４	２６	５３	３８０	１８０３

４．気象状況（観測地：消防本部）

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

区分／月別	天気日数				気温(℃)		湿度(%)		最多風向	平均風速(m/s)	降雨日数	降雨量(mm)
	晴	曇	雨	雪	最高	最低	最高	最低				
１月	22	8	1		11.0	-1.0	98	23	W	2.4	5	19
２月	12	15	2		12.0	-2.0	98	33	W	2.7	11	45
３月	14	14	3		20.0	-1.0	96	23	W	2.5	11	93
４月	17	10	4		26.0	1.5	97	23	NE	2.1	8	50
５月	14	15	2		28.0	12.0	97	24	W	2	5	24
６月	8	18	4		29.0	16.0	97	36	E	2.3	11	108
７月	22	8	1		36.0	19.0	96	41	E	1.8	8	146
８月	24	7			35.2	22.0	95	43	E	2.4	2	34
９月	14	13	3		33.0	16.0	95	41	E	2.1	8	121
１０月	14	15	2		26.0	10.0	95	30	W	1.7	4	35
１１月	15	15			19.0	2.0	95	40	W	2.3	9	37
１２月	13	14	4		13.5	-2.0	98	32.5	W	2.9	8	62
合　計	189	152	26	0	36.0	-2.0	98.0	23.0	W	2.27	90	774

・天気日数、最高気温、湿度、最多風向、平均風速は１７時の観測値
・最低気温は１０時の観測値

５．気象情報受理状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

種別＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
注意報関係	大雨注意報						2	3	1	3	1			10
	洪水注意報						2	2	1	2	1			8
	強風注意報	8	3	6	3	3	3	1	1	3	4	6	7	48
	波浪注意報	7	2	6	3	3	3	1	1	3	4	6	7	46
	濃霧注意報	2	3	1	3	2							1	12
	霧注意報													0
	雷注意報	2	2	3	6	7	4	13	13	12	4	5	3	74
	高潮注意報							1		1				2
	津波注意報													0
	乾燥注意報	2	3	4	3	5				1		4	3	25
	大雪注意報	2	4											6
	大雪電線着雪注意報													0
	霜注意報			10	3									13
	風雪注意報	2	3											5
	小計	25	20	30	21	20	14	21	17	25	14	21	21	249
警報関係	大雨警報						1							1
	洪水警報						1							1
	強風警報													0
	暴風警報				1		1							2
	波浪警報				1		1							2
	高潮警報													0
	大雪警報													0
	津波警報													0
	小計	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	6
気象情報関係	大雨						8	3		8	2			21
	小雨													0
	強風		2		6	8	5	5	2		4		2	34
	大雪	6	13											19
	雪												4	4
	雷					8	5	6	2		4			25
	高波		3		11								2	16
	低気圧													0
	台風						11			11				22
	強い冬型の気圧配置													0
	梅雨の時期（四国地方）													0
	地震	1									1	1	1	4
	各地の震度										2		1	3
	津波													0
	その他の気象に関する情報		1		8	9		8	3	2	4	1	1	37
	小計	7	19	0	25	25	29	22	7	21	17	2	11	185
火災気象通報					9	5						1	6	21
合計		32	39	30	57	50	47	43	24	46	31	24	38	461

火　災　統　計

火　災　統　計

１．火災発生状況

区分＼町別			土庄町		小豆島町				合計	
					内海方面		池田方面			
			24年	23年	24年	23年	24年	23年	24年	23年
全火災		件数	5	7	3	5	5	7	13	19
		損害額　千円	5,064	3,755	7,477	2,219	591	31,655	13,132	37,629
火災種別	建物	件数	5	3	3	4	3	4	11	11
		焼損床面積　㎡	141.18	114	129	132	13	317	283.18	563
		焼損表面積　㎡	0.01				0.08	29.045	0.09	29.045
		損害額　千円	5,064	3,620	7,477	2,039	578	31,555	13,119	37,214
	林野	件数						1		1
		焼損面積　a						4		4
		損害額　千円								
	車両	件数						1		1
		損害額　千円						100		100
	船舶	件数								
		損害額　千円								
	航空機	件数								
		損害額　千円								
	その他	件数		4		1	2	1	2	6
		焼損面積　a		0.02		1	10.21	0.04	10.21	1.06
		損害額　千円		135		180	13		13	315
り災世帯数			5		3	2	3	2	11	4
り災者数（人）			11		13	6	11	4	35	10
死者（人）				1		1				2
負傷者（人）					1	1			1	1
出火率（１万人あたり）（件）			3.4	4.7	※5.1	※7.5	※5.1	※7.5	4.3	6.2

※小豆島町の出火率は両方面合計したものとする。

2．時間別火災状況

区分／時間別	火災件数	火災種別						焼損面積						損害額（千円）
								建物						
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a	その他a	船舶	航空機	
0時～ 1時														
1 ～ 2														
2 ～ 3														
3 ～ 4														
4 ～ 5														
5 ～ 6														
6 ～ 7														
7 ～ 8	1	1						0.18						40
8 ～ 9	1	1						4						196
9 ～10	1	1						76						2,347
10～11	2	1					1	52						2,182
11～12	1	1						1						214
12～13														
13～14	1						1				10			9
14～15	1	1						13						499
15～16	2	2						15	0.08					1,968
16～17	2	2						122						5,677
17～18														
18～19	1	1							0.01					
19～20														
20～21														
21～22														
22～23														
23～24														
不明														
合計	13	11					2							13,132

3．月・曜日別火災状況

月別／曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	損害額（千円）
月			1										1	2,178
火							1						1	
水														
木		1	1					2			1		5	2,724
金			1			1							2	5,527
土			1						1				2	2,008
日	1	1											2	695
不明														
合計	1	2	4			1	1	2	1		1		13	13,132

4．覚知別火災状況

覚知別 / 署所別	１１９	加入電話	駆け付け	事後覚知	その他	計	損害額（千円）
本署	4				1	5	5,064
内海分署	1	1		1		3	7,477
池田分署	2	2		1		5	591
合計	7	3		2	1	13	13,132

5．原因別火災状況

区分 / 原因別	火災件数	火災種別						焼損面積				損害額（千円）
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物		林野 a	その他 a	
								床面積 ㎡	表面積 ㎡			
ガスコンロ	2	2						52	0.08			2,178
不明												
子供の火遊び												
電灯・電話等の配線	2	2						186				7,660
電気装置	2	2						1	0.01			214
取灰												
マッチ												
放火												
放火の疑い												
その他	7	5					2	44			10	3,080
合計	13	11					2	283	0.09		10	13,132

6．建物火災用途別火災状況（月別）

月別 / 用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	床面積 ㎡	表面積 ㎡	損害額（千円）
住宅	1	2	4			1		1			1		10	283	0.08	13,079
作業所																
住宅・物置							1						1		0.01	
作業場住宅																
店舗									1				1	0		40
共同住宅																
その他の建築物																
納屋																
診療所																
とり小屋																
倉庫																
合計	1	2	4			1	1	1	1		1		12	283	0.09	13,119

７．過去１０ヶ年火災状況

区分 / 年別	火災件数				損害額（千円）			
	土庄町	小豆島町		計	土庄町	小豆島町		計
		内海方面	池田方面			内海方面	池田方面	
平成１５年	8	7	6	21	877	27,575	365	28,817
平成１６年	7	7	3	17	28,767	3,674	489	32,930
平成１７年	10	11	3	24	71,086	5,199	4,225	80,510
平成１８年	12	3	0	15	6,564	92	0	6,656
平成１９年	9	12	3	24	30,765	24,258	125	55,148
平成２０年	6	8	1	15	3,182	816	30	4,028
平成２１年	8	8	5	21	10,583	40,688	562	51,833
平成２２年	3	5	4	12	2,379	4,002	683	7,064
平成２３年	7	5	7	19	3,755	2,219	31,655	37,629
平成２４年	5	3	5	13	5,064	7,477	591	13,132
合計	75	69	37	181	163,022	116,000	38,725	317,747

救 急 統 計

救 急 統 計

1. 事故別、救急出場状況

平成 24 年 1 月 1 日～12 月 31 日

事故別＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出場件数		119	125	95	113	113	96	129	139	90	84	109	126	1338
搬送人員		110	113	86	98	104	88	128	127	77	78	92	117	1218
火災	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自然災害	出場件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
水難	出場件数	0	0	0	1	0	0	1	3	0	1	0	0	6
	搬送人員	0	0	0	1	0	0	1	3	0	1	0	0	6
交通	出場件数	4	8	6	5	11	8	15	8	13	8	5	8	99
	搬送人員	4	7	7	5	13	8	23	8	13	8	5	7	108
労働災害	出場件数	1	2	1	0	1	0	2	0	2	2	2	1	14
	搬送人員	1	1	1	0	1	0	2	0	2	2	1	1	12
運動競技	出場件数	0	0	1	0	9	0	1	1	0	0	2	0	14
	搬送人員	0	0	1	0	9	0	1	2	0	0	1	0	14
一般負傷	出場件数	22	19	13	24	17	18	20	28	10	14	17	21	223
	搬送人員	22	18	11	20	15	16	19	25	10	13	17	20	206
加害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
自損行為	出場件数	2	3	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	9
	搬送人員	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	7
急病	出場件数	71	76	61	59	57	53	72	78	49	45	70	76	767
	搬送人員	63	68	54	52	50	48	66	73	37	42	58	70	681
その他	出場件数	19	17	13	22	18	16	18	20	16	13	13	19	204
	搬送人員	18	16	12	19	16	16	16	15	15	11	10	18	182

2．覚知別救急出場状況

覚知別	１１９番	一般加入	警察電話	駆け付け	その他	計
救急件数	1,015	299	6	5	13	1,338

3．医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照会回数	１回目	２回目	３回目	４回目	５回目	６回目以上	計
搬送人員	1,201	11	5	1	0	0	1,218

４．時間別出場状況

時間別 / 事故別	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	計
急病	30	31	35	57	104	94	86	65	65	78	77	45	767
交通事故	1	1	0	5	13	11	16	16	25	7	4	0	99
一般負傷	3	2	5	9	44	27	18	26	27	27	24	11	223
転院搬送	4	2	3	9	26	31	29	24	23	18	9	5	183
その他	0	1	3	2	5	9	12	15	9	6	2	2	66
合計	38	37	46	82	192	172	161	146	149	136	116	63	1,338

５．曜日別救急出場件数

曜日別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合計
救急件数	210	201	172	179	191	164	221	1,338

６．救急隊員の行った応急処置件数

事故別 / 処置別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	676	105	203	214	1,198
止血	4	8	12	1	25
固定	20	82	109	23	234
人工呼吸	19	1	5	4	29
心マッサージ	0	0	0	0	0
心肺蘇生	41	1	14	3	59
酸素吸入	239	13	32	90	374
気道確保	56	1	15	9	81
保温	65	6	16	23	110
被覆	4	33	54	8	99
在宅療法継続	7	0	1	0	8
ショックパンツによる血圧保持	0	0	0	0	0
除細動	0	0	0	0	0
静脈路確保	13	0	2	0	15
その他の応急処置	19	1	1	5	26
血圧測定	620	99	181	193	1,093
心音・呼吸音等の聴取	226	36	33	25	320
血中酸素飽和度の測定	635	99	183	204	1,121
心電図	526	22	69	114	731

7．現場到着所要時間別出場状況

時間 / 事故別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平均所要時間（分）
急病	12	133	386	199	37	767	8.5
交通	4	22	45	27	1	99	7.6
一般負傷	6	33	114	60	10	223	8.4
その他	33	130	62	20	4	249	5.5
合計	55	318	607	306	52	1,338	

8．収容所要時間別搬送人員

所要時間 / 事故別	１０分未満		１０分以上２０分未満		２０分以上３０分未満		３０分以上６０分未満		６０分以上１２０分未満		１２０分以上		合計	
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
急病	0	0	138	0	247	0	274	0	21	0	1	0	681	0
交通	0	0	26	0	38	0	42	0	1	0	1	0	108	0
一般負傷	0	0	37	0	74	0	88	0	7	0	0	0	206	0
その他	0	0	31	1	53	3	40	3	91	84	8	6	223	97
合計	0	0	232	1	412	3	444	3	120	84	10	6	1218	97

9．年齢区分別搬送人員

事故別 / 年齢別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
乳幼児	0	0	1	4	0	0	5	0	0	15	10	35
少年	0	0	1	5	0	1	3	0	0	7	2	19
成年	0	1	1	64	9	13	32	1	5	136	51	313
高齢者	0	0	3	35	3	0	166	0	2	523	116	848
合計	0	1	6	108	12	14	206	1	7	681	182	1,218

１０．発生場所別搬送人員

場所別／事故別	住　宅	公衆場所	仕事場	道　路	その他	合　計
急　病	530	107	15	14	15	681
交　通	0	1	0	104	3	108
一般負傷	122	27	0	29	28	206
その他	5	196	9	4	9	223
合　計	657	331	24	151	55	1,218

１１．管轄外転院搬送件数

搬送種別／年別	巡視艇	高松市消防局救急艇	ヘリコプター	フェリー	海上タクシー（高速艇等）	合　計
平成１７年	9	－	14	132	23(4)	178
平成１８年	5	－	14	143	15(2)	177
平成１９年	7	－	20	106	13(2)	146
平成２０年	3	－	17	109	15(1)	144
平成２１年	0	－	38	98	17(3)	153
平成２２年	1	－	46	112	18(0)	177
平成２３年	3	19	47	104	8(3)	181
平成２４年	0	33	33	97	2(1)	165

１２．傷病程度別搬送人員

事故別／傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死　亡	0	0	1	0	0	0	7	0	1	35	0	44
重　症	0	1	2	13	2	1	47	0	2	94	42	204
中等症	0	0	1	32	6	1	82	0	3	319	74	518
軽　症	0	0	2	62	4	12	70	1	1	233	4	389
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	62	63
合　計	0	1	6	108	12	14	206	1	7	681	182	1,218

１３．小豆２町、年別救急出場状況

町別＼年別		15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	10年間合計
土庄町	出場件数	562	621	714	704	594	620	577	688	599	651	6,330
	搬送人員	530	569	673	658	551	585	528	629	552	581	5,856
小豆島町 内海方面	出場件数	475	461	501	441	458	428	450	541	511	488	4,754
	搬送人員	447	439	484	434	455	408	433	528	482	449	4,559
小豆島町 池田方面	出場件数	149	160	180	149	169	167	188	177	200	198	1,737
	搬送人員	144	161	178	149	160	158	178	166	189	187	1,670
郡外	出場件数	5	5	3	2	2	1	1	1	1	1	22
	搬送人員	5	5	3	2	2	1	1	1	1	1	22
合計	出場件数	1,191	1,247	1,398	1,296	1,223	1,216	1,216	1,407	1,311	1,338	12,843
	搬送人員	1,126	1,174	1,338	1,243	1,168	1,152	1,140	1,324	1,224	1,218	12,107

１４．過去１０ヶ年の主な救急出場状況

町別＼年別	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	合計
急病	673	662	770	724	703	671	688	782	778	767	7,218
交通	112	101	102	91	85	107	95	114	89	99	995
一般負傷	168	207	194	194	191	180	181	237	189	223	1,964
その他	238	277	332	287	244	258	252	274	255	249	2,666
合計	1,191	1,247	1,398	1,296	1,223	1,216	1,216	1,407	1,311	1,338	12,843

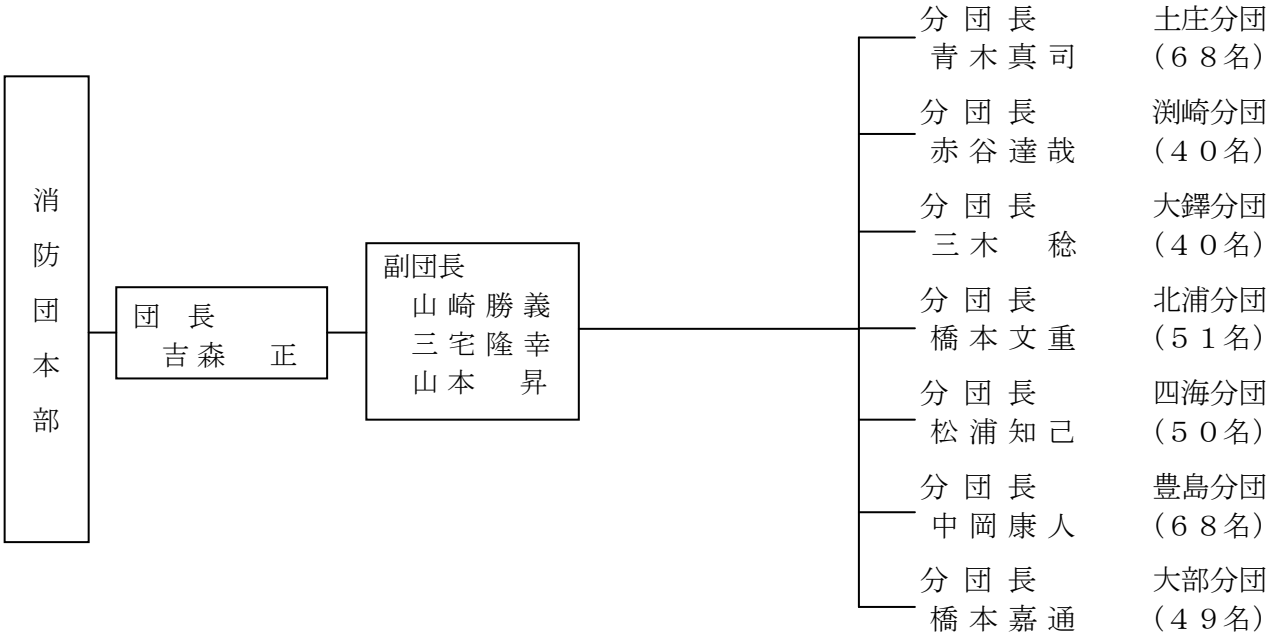
消　防　団

1.2 町消防団現勢分布図

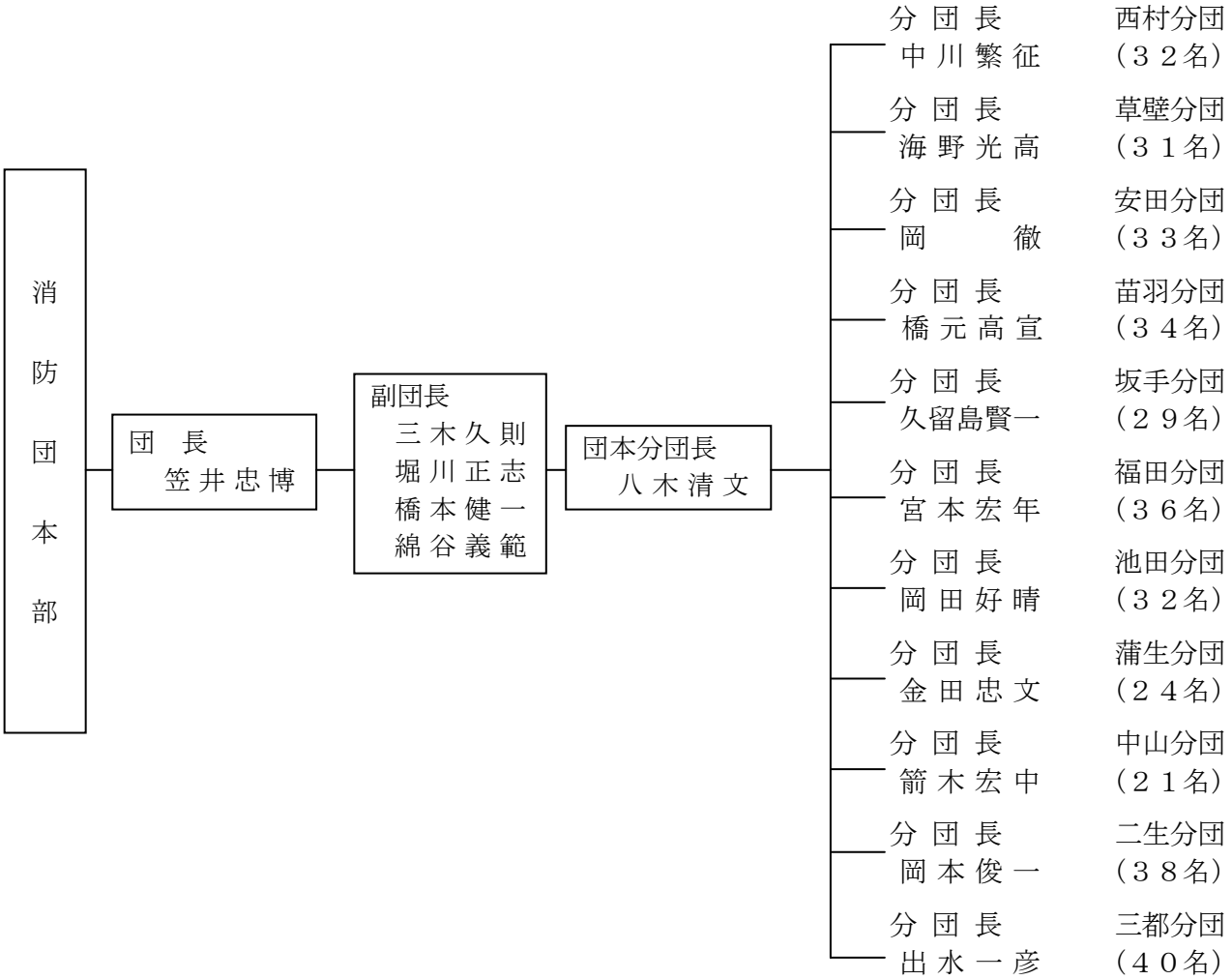
２．消防団の組織、機構

平成 25 年 4 月 1 日現在

土庄町消防団



小豆島町消防団



３．消防団員の勤務年数及び年齢

（勤務年数）　　平成 25 年 4 月 1 日現在

団別 / 年齢別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
１年未満	３１	１３	４４
１年～５年	５８	５３	１１１
５年～１０年	９７	８０	１７７
１０年～１５年	７５	７０	１４５
１５年～２０年	５８	５２	１１０
２０年～２５年	２５	３４	５９
２５年～３０年	１１	３３	４４
３０年～３５年	１０	１８	２８
３５年以上	５	３	８
合計	３７０	３５６	７２６
平均勤続年数	１０．１	１３．３	１１．７

（年齢）　　平成 25 年 4 月 1 日現在

団別 / 年齢別	土庄町消防団	小豆島町消防団	合計
１８才～２０才	４	３	７
２１才～２５才	６	１３	１９
２６才～３０才	４１	４０	８１
３１才～３５才	７５	７１	１４６
３６才～４０才	１１７	５８	１７５
４１才～４５才	５５	７３	１２８
４６才～５０才	３４	４０	７４
５１才～５５才	１６	３９	５５
５６才～６０才	１１	１５	２６
６０才以上	１１	４	１５
合計	３７０	３５６	７２６
平均年齢	３９．２	４０．１	３９．７

４．消防団員数及び装備状況

（団員数）　　平成 25 年 4 月 1 日現在

階級別 / 団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
土庄町消防団	１	３	７	７	１４	４８	２９０	３７０
小豆島町消防団	１	４	１２	１３	１３	５６	２５７	３５６
合計	２	７	１９	２０	２７	１０４	５４７	７２６

（装備状況）　　平成25年 4月 1日現在

種別 / 団別	ポンプ車	積載車	小型動力ポンプ	無線機
土庄町消防団	7	29	33	31
小豆島町消防団	3	21	20	56
合　　計	10	50	53	87

５．町別消防車両等種別現況

平成25年 4月 1日現在

		種別	年式	車名	ポンプ型式	馬力数	購入年月日
土庄町消防団	土庄分団ポンプ車	Ａ－２	S62	三　菱	二段バランスタービン	110	６２．　９．　８
	渕崎分団　〃	〃	Ｈ５	〃	〃	130	５．　９．３０
	大鐸分団　〃	〃	H15	イスズ	〃	〃	１５．　２．２５
	北浦分団　〃	〃	Ｈ７	三　菱	〃	〃	７．　８．２５
	四海分団　〃	〃	Ｈ９	〃	〃	〃	９．　９．　２
	豊島分団　〃	〃	H12	〃	〃	〃	１２．　９．２５
	大部分団　〃	〃	Ｈ３	〃	〃	〃	３．１０．２２
	団本部　連絡車		Ｈ６	スズキ		28	６．　５．２３
	指揮広報車		Ｈ４	トヨタ		105	４．　８．　５
	団本部　積載車		Ｈ７	日　産		98	７．１２．２６
	土庄分団　積載車		Ｈ３	スズキ		30	３．　６．２５
	〃		Ｈ２	〃		〃	２．　３．２０
	〃		Ｈ元	〃		〃	元．１１．２９
	〃		S63	〃		28	６３．　７．　１
	〃		S62	ダイハツ		〃	６２．　５．２７
	渕崎分団　積載車		H24	三　菱		－	２４．１０．１２
	大鐸分団　積載車		H10	三　菱		30	１０．　４．１６
	〃		H13	〃		〃	１３．１１．　５
	〃		H18	ダイハツ		33	１８．　２．　９
	北浦分団　積載車		Ｈ４	ホンダ		38	４．　４．２８
	〃		Ｈ３	〃		〃	３．１１．　７
	〃		〃	〃		〃	〃
	〃		Ｈ８	三　菱		30	８．１１．１１
	四海分団　積載車		Ｈ４	ホンダ		38	４．　２．２７
	〃		〃	〃		〃	４．　４．２８
	〃		Ｈ９	〃		〃	９．　３．１２
	豊島分団　積載車		Ｈ２	三　菱		30	２．１１．　８
	〃		Ｈ元	〃		〃	元．　５．２６
	〃		S63	〃		〃	６３．　７．　１
	〃		H22	ダイハツ		49	２２．１１．１６
	〃		H18	三　菱		35	１８．　２．　９
	〃		H18	ホンダ		46	１８．　７．１８
	大部分団　積載車		Ｈ６	三　菱		30	６．　６．１７
	〃		〃	〃		〃	〃
	〃		S63	〃		〃	６３．１１．２１
	〃		Ｈ６	三　菱		26	６．　６．１７
	〃		〃	三　菱		28	〃

小豆島町消防団	福田分団　ポンプ車	Ａ－２	Ｈ２	三　　菱	二段バランスタービン	120	２．１１．２２
	坂手分団　〃	〃	Ｈ元	〃	〃	〃	元．　９．２６
	団本部　積載車		Ｈ８	トヨタ		105	８．１０．２３
	西村分団　積載車		H19	三　　菱		110	１９．　３．１９
	〃　軽四積載車		S62	スズキ		28	６２．１１．２７
	草壁分団　積載車		H19	日　　産		98	１９．　２．１９
	〃		Ｈ４	トヨタ		105	４．　８．２８
	安田分団　積載車		H12	三　　菱		105	１２．　８．２９
	〃　軽四積載車		Ｈ７	スズキ		42	７．　７．２４
	苗羽分団　積載車		H22	イスズ		110	２２．　３．２６
	〃　人員搬送車		Ｈ９	日　　産		98	９．　９．１８
	坂手分団軽四積載車		Ｈ８	スズキ		〃	８．　９．２７
	福田分団軽四積載車		〃	〃		〃	８．　３．１８
	〃		H12	〃		49	１２．１１．　９
	〃		〃	〃		〃	１２．１１．１０
	池田分団　ポンプ車	Ａ－２	Ｈ７	三　　菱	二段バランスタービン	110	７．１０．１２
	団本部　積載車		Ｈ６	日　　産		91	６．　１．２８
	団本部　軽四積載車		Ｈ13	スバル		34	１３．　４．　１
	蒲生分団　積載車		〃	三　　菱		94	１３．　９．　４
	中山分団　積載車		H12	〃		〃	１２．　２．２８
	二生分団　積載車		H15	〃		〃	１５．　９．　３
	〃		H10	トヨタ		91	１０．　３．１０
	三都分団　積載車		H14	三　　菱		94	１４．　８．２０．
	〃		H11	〃		〃	１１．　３．１７

６．消防団員報酬調

平成25年 4月 1日現在

階級 / 団別	団　長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
土庄町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000
小豆島町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000

７．消防団員諸手当調

平成25年 4月 1日現在

区分 / 団別	水・火災出動（１回あたり）	警戒出動（１回あたり）	訓練出動（１回あたり）
土庄町消防団	1,800	1,800	1,800
小豆島町消防団	1,800	1,800	1,800